

6月23日(金) A会場(パシフィコ横浜ノース 1F G7+G8)

8:30～10:30 シンポジウム37

主治医産業医が「両立支援と職域の安全配慮・合理的配慮義務」を重視しながら取り組む就労支援をめぐる

司会：工藤 喬 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科
渡辺 洋一郎 医療法人メディカルメンタルケア横山・渡辺クリニック名誉院長

S37-1 メンタルヘルス対策を巡る最近の労働衛生行政の動向

○伊藤 遼太郎
厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課

S37-2 安全配慮、合理的配慮、両立支援を意識した就労支援をめぐる ～精神科主治医の立場から～

○高野 知樹
医療法人社団弘富会神田東クリニック

S37-3 嘱託産業医や都道府県医師会の取り組み

○森口 次郎
京都工場保健会産業保健推進本部

S37-4 メンタルヘルス不調者の就労支援をめぐる 産業医(精神科)の立場から

○田中 和秀
ひつじクリニック

S37-5 メンタルヘルス不調者の両立支援と法的問題

○井上 洋一
愛三西尾法律事務所

〔指定発言〕

○神山 昭男
有楽町桜クリニック

〈メインコーディネーター〉 工藤 喬 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター精神科
〈サブコーディネーター〉 渡辺 洋一郎 医療法人メディカルメンタルケア
横山・渡辺クリニック名誉院長



受賞報告会

11:00~12:50

1. 精神医学奨励賞

司会：神奈川県立精神医療センター

群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

田口 寿子

福田 正人

東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野

塩飽 裕紀

2. フォリア賞

司会：順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学／医学部精神医学講座

加藤 忠史

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学

竹内 秀暁

順天堂大学医学部大学院精神医学講座

河上 緒

3. PCN Reports 最優秀論文賞

司会：関西医科大学精神神経科

富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

木下 利彦

鈴木 道雄

医療法人社団八峰会池田病院

石川 和宏

4. 国際学会発表賞

司会：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

奈良県立医科大学精神医学講座

水井 亮

(個人発表部門) 東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

越山 太輔

5. 若手国際シンポジウム発表賞

司会：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

横浜市立大学附属市民総合医療センター

宮崎 秀仁

千葉県精神科医療センター

河岸 嶺将

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

星野 瑞生

国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター、東京大学医学部附属病院精神神経科

高松 直岐

6. PCN Reviewer Awards

司会：順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学／医学部精神医学講座

加藤 忠史

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学

高橋 英彦

岐阜大学大学院医学系研究科精神医学

大井 一高

一般社団法人臨床疫学研究推進機構

奥村 泰之

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

加藤 隆弘

千葉大学社会精神保健教育研究センター

金原 信久

藤田医科大学精神神経科	岸 太郎
東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科	品川 俊一郎
岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学教室	高木 学
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学	根本 清貴
福岡大学医学部精神医学教室	堀 輝
九州大学大学院医学研究院附属総合コホートセンター	本田 貴紀
藤田医科大学大学院保健学研究科レギュラトリーサイエンス部門	毛利 彰宏
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野	渡部 雄一郎

7. PCN Reports Best Reviewer Awards

司会：関西医科大学精神神経科

富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

木下 利彦

鈴木 道雄

愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座

福岡大学医学部精神医学教室

伊賀 淳一

堀 輝

8. PCN Reports Reviewer Awards

司会：関西医科大学精神神経科

富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座

木下 利彦

鈴木 道雄

山形大学医学部精神医学講座

特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院

大正大学社会心理学部

小林 良太

館農 勝

新村 秀人

13:15～15:15 会長企画シンポジウム2

若手精神科医から見た世界の中の日本の精神医療の方向性

司会：橋本 佐

国際医療福祉大学医学部精神医学准教授

PS2-1

英国留学の体験－薬物使用障害、ギャンブル障害、摂食障害の
治療現場にて

○橋本 望

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター



PS2-2

児童思春期精神科医療：イタリアにおける歴史、専門研修プログラム
および地域医療提供体制について

○マンゾッティ 須美礼^{1,2}

¹南八街病院、²国保旭中央病院





PS2-3

日本のサイコセラピー、精神療法の位置づけについて
— スイス留学、日本での外国人診療の経験をもとに —

○清水 加奈子
聖路加国際病院



PS2-4

Comparing Mental Health Systems of US, Italy, and Japan:
Identifying opportunities for improvement and collaboration

○Gianluigi Campanile
Alma Mater Studiorum – Bologna University- Dept. Psychiatry



15:30～17:30 委員会シンポジウム26 (産業保健に関する委員会)

気分障害患者における復職促進および判断基準の均てん化に向けて

司会：吉村 玲児 産業医科大学精神医学
井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

CS26-1

うつ病当事者の復職促進および判断基準均てん化に向けて

○坪井 貴嗣
杏林大学医学部附属病院精神神経科学教室

CS26-2

初老期以降の気分障害患者における職場復帰支援

○池ノ内 篤子
産業医科大学精神医学教室、認知症センター

CS26-3

企業や大学における復職支援プロセスの実際

○佐渡 充洋^{1,2,3}
¹慶應義塾大学保健管理センター、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、
³慶應義塾大学ストレス研究センター

CS26-4

気分障害患者の復職基準：職業適性の観点から

○渡辺 洋一郎
横山・渡辺クリニック

CS26-5

気分障害を有する労働者の復職判定に関する法的問題

○佐々木 達也
名古屋学院大学法学部

〈メインコーディネーター〉 吉村 玲児 産業医科大学精神医学
〈サブコーディネーター〉 井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

6月23日(金) B会場(パシフィコ横浜ノース 1F G5)

8:30～9:30 教育講演4

司会：神庭 重信 日本うつ病センター理事長／九州大学名誉教授

EL4 精神障害における障害の社会モデルの重要性

○熊谷 晋一郎
東京大学先端科学技術研究センター



9:30～10:30 特別講演3

司会：藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰研究部

SL3 A non-discriminatory(mental)health law

○George Szmukler
Emeritus Professor of Psychiatry and Society, Institute of Psychiatry, Psychology and Neuroscience, King's College London



10:45～12:45 委員会シンポジウム19 (精神医療・福祉のあり方に関する常任委員会)

国連障害者権利擁護委員会(CRPD)の対日審査をめぐって－これからのわが国の精神医療のあり方を考える

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル
水野 雅文 東京都立松沢病院

CS19-1 尊厳と自己決定を重視する社会に

○森本 美紀
朝日新聞記者

CS19-2 障害者権利条約から見た日本の精神障害分野における人権課題について

○山田 悠平
一般社団法人精神障害当事者会ポルケ

CS19-3 勧告へ現場からリアルに回答する－障害者権利擁護の視点からみた精神科医療のあるべき具体像－

○来住 由樹
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

CS19-4 CRPDの勧告から見た本邦における精神障害者の就労支援の課題と方向性

○林 輝男
社会医療法人清和会西川病院



〔指定発言〕

○藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

〈サブコーディネーター〉 水野 雅文 東京都立松沢病院

13:15～14:15 教育講演5

司会：岡田 幸之 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学系専攻認知行動医学講座精神行動医科学

EL5 刑事精神鑑定－最近の動向－

○五十嵐 禎人

千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門



14:15～15:15 教育講演7

司会：立花 良之 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科

EL7 女性と養育者のメンタルヘルスを再考する
－大学病院女性外来とつぶくりから見える風景

○加茂 登志子

若松町こころとひふのクリニックメンタルケア科PCIT研修センター



15:30～17:30 シンポジウム66

高齢者犯罪の現状と司法精神医学的課題

司会：五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門
田口 寿子 神奈川県立精神医療センター

S66-1 超高齢社会における高齢受刑者の現状と課題

○小山田 静枝¹、川西 智也²

¹昭和大学保健医療学部、²鳴門教育大学大学院

S66-2 医療観察法病棟における高齢入院対象者の現状と課題

○大町 佳永

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

S66-3 高齢者の刑事責任能力・訴訟能力

○村松 太郎

慶應義塾大学病院

S66-4

高齢者による介護殺人 – 超高齢化社会のメンタルヘルス問題として

○田口 寿子

神奈川県立精神医療センター

〔指定発言〕

○五十嵐 禎人

千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

〈メインコーディネーター〉 田口 寿子 神奈川県立精神医療センター

〈サブコーディネーター〉 村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神神経科



6月23日(金) C会場(パシフィコ横浜ノース 1F G6)

8:30~10:30 シンポジウム38

自閉スペクトラム症の特性とは何か～研究の視点を診療につなげる～

司会：太田 晴久 昭和大学発達障害医療研究所
中村 元昭 昭和大学発達障害医療研究所

S38-1 自閉スペクトラム症における「抽象的態度」の問題

○丹治 和世
小石川東京病院精神科

S38-2 意思決定の観点から検証する自閉スペクトラム症の特性： 行動経済学的手法を用いた試み

○藤野 純也^{1,2}
¹東京医科歯科大学精神科、²昭和大学附属烏山病院

S38-3 自閉症者の終助詞「ね」の使用に関する研究

○幕内 充
国立障害者リハビリテーションセンター研究所高次脳機能障害研究室

S38-4 昭和大学発達障害医療研究所での取り組み：ADHDとの異同に関する脳画像研究、 ダイケアプログラム

○太田 晴久¹、中村 元昭¹、沖村 幸¹、板橋 貴史¹、橋本 龍一郎²、青木 隆太¹、
青木 悠太³、加藤 進昌⁴
¹昭和大学発達障害医療研究所、²東京都立大学、³あおきクリニック、⁴小石川東京病院

S38-5 ギフテッドの特徴を持つ人々の実態と支援のあり方

○池澤 聡
東京大学大学院総合文化研究科ギフテッド創成寄付講座

〈メインコーディネーター〉 太田 晴久 昭和大学発達障害医療研究所

10:45~12:45 シンポジウム47

これからの摂食障害治療を考える：スタンダードな身体管理と精神療法に向けて

司会：中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学精神科
竹林 淳和 浜松医科大学附属病院精神科神経科

S47-1 モーズレイ神経性やせ症治療(MANTRA)の普及と実践に向けて

○中里 道子^{1,2}
¹国際医療福祉大学医学部精神医学精神科、²千葉大学医学部附属病院精神神経科

S47-2 神経性やせ症に対する身体治療マニュアルの開発

○竹林 淳和¹、原田 朋子²、栗田 大輔³、井上 幸紀²
¹浜松医科大学医学部附属病院精神神経科、²大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学、
³社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院精神科

S47-3 児童思春期神経性やせ症に対するFamily based treatment(FBT)

○北島 翼

獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター

S47-4 日本におけるCBT(Enhanced cognitive behavior therapy)の研修システム

○河合 啓介

国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

〈メインコーディネーター〉 中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学精神科
 〈サブコーディネーター〉 竹林 淳和 浜松医科大学附属病院精神科神経科

13:15～15:15 シンポジウム57

統合失調症診断と医学の進歩 - 操作的な統合失調症診断概念における「器質因」を考える -

司会：尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座
 高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学教室

S57-1 統合失調症診断概念における「自己免疫」というアプローチ

○酒本 真次

岡山大学病院精神科神経科

S57-2 レビー小体病における精神病症状の特徴

○角 幸頼

滋賀医科大学精神医学講座

S57-3 『統合失調症』に隠れる成人ニーマンピック病C型の可能性を検討する

○藤井 久彌子

滋賀医科大学精神医学講座

S57-4 狭義の「てんかん精神病」：てんかん患者にみられる統合失調症類似の精神病

○谷口 豪、加藤 英生、大竹 眞生、中田 千尋

国立精神・神経医療研究センター病院精神科

〈メインコーディネーター〉 尾関 祐二 滋賀医科大学精神医学講座
 〈サブコーディネーター〉 高木 学 岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学教室

15:30～17:30 シンポジウム67

認知行動療法update: 診療ガイドラインから臨床実践への橋渡し

司会：中川 敦夫 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室
 藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神・神経科

S67-1 個人・集団認知行動療法の均てん化に向けた基礎調査とマニュアル整備

○藤澤 大介

慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神・神経科



S67-2 認知行動療法の効率化と今後の実装に向けて－SCBT：効率型認知行動療法－

○久我 弘典^{1,2}、梅本 育恵^{1,2}、三田村 康衣^{1,2}、牧野 みゆき¹、駒沢 あさみ^{1,3}、
上原 陽子^{1,4}、中島 俊¹、伊藤 正哉¹、大野 裕⁵、堀越 勝¹

¹国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター、²東京慈恵会医科大学大学院医学研究科、
³目白大学心理カウンセリング学科、⁴東日本矯正医療センター、
⁵一般社団法人認知行動療法研修開発センター

S67-3 診療ガイドラインから臨床実装へ：オンラインを用いた認知行動療法の普及
(INITIATE研究)

○中川 敦夫
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

S67-4 認知行動療法を普及させるためには

○菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〔指定発言〕

○煙山 剛史
社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院

〔指定発言〕

○大野 裕
大野研究所

〈メインコーディネーター〉 中川 敦夫 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室
〈サブコーディネーター〉 藤澤 大介 慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神・神経科

6月23日(金) D会場(パシフィコ横浜ノース 3F G303+G304)

8:30～10:30 シンポジウム39

不安症、強迫症の診療ガイドラインと臨床的実践

司会：清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どものこころの発達教育研究センター
井上 猛 東京医科大学精神医学分野／東京医科大学病院メンタルヘルス科

S39-1 パニック症の診療ガイドラインと臨床的実践

○塩入 俊樹
岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

S39-2 強迫症(OCD)治療ガイドラインの臨床的実践

○松永 寿人
兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

S39-3 社交不安症の診療ガイドラインと臨床的実践

○朝倉 聡
北海道大学保健センター・大学院医学研究院精神医学教室

S39-4 全般不安症のガイドラインと臨床的実践

○大坪 天平
東京女子医科大学附属足立医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 井上 猛 東京医科大学精神医学分野／
東京医科大学病院メンタルヘルス科

〈サブコーディネーター〉 清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どもの
こころの発達教育研究センター

10:45～12:45 シンポジウム48

精神科救急における医療安全

司会：深見 悟郎 千葉県精神科医療センター
松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S48-1 身体拘束と深部静脈血栓症

○成田 尚
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

S48-2 急速鎮静と呼吸抑制

○八田 耕太郎
順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック

S48-3 精神科救急診療における適正な診断のために —大学病院精神科の果たすべき役割—

○松岡 孝裕、渡邊 さつき、新井 久稔、松尾 幸治
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科



S48-4 精神科医療訴訟の動向と対策－強制治療に関する最近の裁判例を踏まえて

○木ノ元 直樹

木ノ元総合法律事務所弁護士

〈メインコーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

13:15～15:15 シンポジウム58

精神科臨床の幅を広げるために知っておきたい漢方薬～漢方専門医でなくても上手に漢方薬を使うコツ～

司会：神庭 重信

堀口 淳

社会医療法人栗山会飯田病院精神科

島根大学医学部附属病院

S58-1 精神科臨床における酸棗仁の活用

○山寺 博史

医療法人先陣会やまでらクリニック

S58-2 精神科臨床における柴胡桂枝乾姜湯の活用

○高橋 晶^{1,2,3}

¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター、

³筑波メディカルセンター病院精神科

S58-3 桂枝加芍薬湯を過敏性腸症候群に用いる

○小野 真吾

研究学園ななほクリニック精神科

S58-4 女性のうつ病エピソードに対する女神散の応用可能性

○井口 博登

医療法人社団澤記念会神経科浜松病院

S58-5 精神科臨床における桃核承気湯の活用

○辰巳 礼奈^{1,2}

¹こころと眠りのクリニック成増、²慶應義塾大学医学部漢方医学センター

〔指定発言〕

○山田 和男

東北医科薬科大学病院精神科

〔指定発言〕

○久永 明人

医療法人清風会ホスピタル坂東

〈メインコーディネーター〉 山田 和男

東北医科薬科大学病院精神科

〈サブコーディネーター〉 久永 明人

医療法人清風会ホスピタル坂東

15:30～17:30 シンポジウム68

さまざまな精神科領域における身体症状症－専門的知見に基づく検討

司会：富永 敏行 京都府立医科大学大学院医学系研究科精神機能病態学

S68-1 身体化する児童青年期の症例をどのように診るか？

○山下 達久

からすま五条・やましたクリニック精神科

S68-2 老年期における身体症状症：認知機能との関連も含めて

○稲村 圭亮

東京慈恵会医科大学附属病院

S68-3 乳房切除後疼痛症候群に対するスマホアクセプタンス&コミットメントセラピーの有効性－ランダム化比較試験

○明智 龍男

名古屋市立大学病院

S68-4 物質使用症臨床における身体症状症

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

【指定発言】

○名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科（心療内科）

〈メインコーディネーター〉 富永 敏行

京都府立医科大学大学院医学系研究科精神機能病態学

〈サブコーディネーター〉 名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科（心療内科）



6月23日(金) E会場(パシフィコ横浜ノース 3F G301+G302)

8:30~10:30 シンポジウム40

睡眠からみたAYA世代における精神障害とその予防

司会：清水 徹男 秋田県精神保健福祉センター
根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座

S40-1 神経発達症における睡眠障害の特徴と治療

○和田 真孝
慶應義塾大学病院

S40-2 睡眠医学をふまえた統合失調症の予防に関する新たな展望

○金子 宜之、斎藤 かおり、大槻 怜、藤井 伸邦、鈴木 貴浩、鈴木 正泰
日本大学医学部精神医学系精神医学分野

S40-3 AYA世代におけるトラウマと睡眠の関連

○富本 和歩¹、佐久間 篤¹、松本 和紀²、富田 博秋^{1,3,4}
¹東北大学病院精神科、²こころのクリニックOASIS、³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、
⁴東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野

S40-4 AYA世代の精神病発症危険状態(ARMS)における睡眠障害

○田形 弘実
東邦大学医療センター大森病院

〈メインコーディネーター〉 根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座
〈サブコーディネーター〉 田形 弘実 東邦大学医療センター大森病院東邦大学医学部
精神神経医学講座

10:45~12:45 委員会シンポジウム20 (ICD-11委員会)

ICD-11「精神、行動及び神経発達」の疾患」についての解説

司会：丸田 敏雅 聖徳大学
松本 ちひろ 日本精神神経学会

CS20-1 ICD-11CDDRの翻訳と病名和訳の現状

○神庭 重信
社会医療法人栗山会飯田病院精神科

CS20-2 ICD-11における解離症

○岡野 憲一郎
本郷の森診療所

CS20-3 自己臭関係づけ症の概念の歴史とICD-11での診断基準

○中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

CS20-4 物質使用症又は嗜癖行動症群

○樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科

CS20-5 遷延性悲嘆症について

○本村 啓介

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 神庭 重信 社会医療法人栗山会飯田病院精神科
 〈サブコーディネーター〉 針間 博彦 東京都立松沢病院精神科
 秋山 剛 NTT 東日本関東病院

13:15～15:15 シンポジウム59

ギフテッドの特徴を有する子どもたちの実態と支援

司会：樋口 輝彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター／日本うつ病センター
 池澤 聡 東京大学大学院総合文化研究科ギフテッド創成寄付講座

S59-1 ギフテッドを有する方の心理社会的特徴について

○池澤 聡

東京大学大学院総合文化研究科ギフテッド創成寄付講座

S59-2 児童精神科のクリニックは、ギフテッドの子供たちにどのように治療すべきか

○宮尾 益知

どんぐり発達クリニック

S59-3 成人の神経発達症における高IQ者の特徴

○太田 晴久^{1,2}、中村 善文²、西尾 崇志²、中村 暖²、岩見 有里子²、長塚 雄大²、
 鈴木 洋久²、中村 元昭^{1,2}、沖村 宰^{1,2}、岩波 明²、加藤 進昌³

¹昭和大学発達障害医療研究所、²昭和大学附属鳥山病院、³小石川東京病院

S59-4 ヒューマノイドロボットを用いたギフテッド者への支援

○熊崎 博一

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科未来メンタルヘルス学分野

〔指定発言〕

○山末 英典

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 池澤 聡 東京大学大学院総合文化研究科ギフテッド創成
 寄付講座

〈サブコーディネーター〉 樋口 輝彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター／
 日本うつ病センター

熊崎 博一 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科未来メンタル
 ヘルス学分野



15:30~17:30 シンポジウム69

せん妄の臨床現場に残された重要課題とその対策・展望

司会：八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック
岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院精神科

S69-1 拒薬するせん妄患者にどうアプローチするか

○八田 耕太郎
順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック

S69-2 開始したせん妄の薬物療法をいつ中止するか？

○和田 健
広島市立広島市民病院精神科

S69-3 抗精神病薬でも制御できないせん妄

○岸 泰宏、大山 覚照
日本医科大学武蔵小杉病院精神科

S69-4 小型脳波計に適用したせん妄検出アルゴリズム (bispectral EEG: BSEEG) の有用性

○篠崎 元
スタンフォード大学医学部精神科

〈メインコーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック
〈サブコーディネーター〉 岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院精神科

6月23日(金) F会場(パシフィコ横浜ノース 3F G312+G313)

8:30～10:30 Fellowship Award Symposium 4 (国際委員会)
～Case Vignette: chronic pain(ケースビネット:慢性疼痛)～

司会: 安藝 森央 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学教室 (精神医学)

FAS4-1 DELIVERING THE BEST ACCESSIBLE SERVICES IN CONSULTATION-LIAISON NEUROPSYCHIATRIC PRACTICE:A CASE VIGNETTE OF A SOMATOFORM DISSOCIATIVE DISORDER

○Yesiru Kareem
Association of Psychiatrists in Nigeria

FAS4-2 Clinical case

○Marianna Tumova
Department of Biological Therapy V.M. Bekhterev National Medical Research Center for Psychiatry and Neurology, Russia

FAS4-3 Treatment of anxiety disorders in Poland - case analysis

○Joanna Smolarczyk-Kosowska
Department of Psychoprophylaxis, Faculty of Medical Science in Zabrze, Medical University of Silesia, Poland

FAS4-4 The role of psychiatrists in the interdisciplinary care of chronic pain

○Naoki Takamatsu
National Center for Cognitive Behavior Therapy and Research, National Center for Neurology and Psychiatry / Department of Neuropsychiatry, University of Tokyo Hospital, Japan

〈メインコーディネーター〉 伊井 俊貴 愛知医科大学病院
〈サブコーディネーター〉 秋山 剛 NTT 東日本関東病院

10:45～12:45 委員会シンポジウム21 (オンライン精神科医療検討作業班)
精神科領域における医療DXとオンライン診療

司会: 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター
辻本 哲士 滋賀県立精神保健福祉センター

CS21-1 医療DX・オンライン診療を取り巻く政策動向

○木下 翔太郎
慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

CS21-2 職場におけるデジタル技術を活用したメンタルヘルス一次予防対策

○今村 幸太郎
東京大学大学院医学系研究科デジタルメンタルヘルス講座



CS21-3 本邦におけるオンライン診療のエビデンス

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

CS21-4 精神科診療現場でのオンライン診療の有用性と課題

○長尾 喜一郎
医療法人長尾会ねや川サナトリウム

〈メインコーディネーター〉 岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・
ウェルネス共同研究講座

〈サブコーディネーター〉 吉村 健佑 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

13:15~15:15 委員会シンポジウム23 (国際委員会)

各国におけるアディクションへの対応

司会：高橋 英彦 東京医科歯科大学病院
秋山 剛 NTT東日本関東病院

CS23-1 The Addiction Landscape in the 2020s: New Science, New Addictions, New Treatments, and a New Medical Framework

○Petros Levounis
President-Elect, American Psychiatric Association (President: 2023 May-)

CS23-2 Alcohol and other drugs and mental health comorbidity: How can we do this better?

○Elizabeth Moore
President-Elect, Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists (President: May 31, 2023-)

CS23-3 Rebuilding Addiction Services in UK

○Adrian James
President, Royal College of Psychiatrists
Devon Partnership NHS Trust

CS23-4 Addiction - education and research systems related to addiction and responses to new problems

○Ming-Chyi Huang
Taiwanese Society of Psychiatry
Song-De branch of Taipei City Hospital / Department of Psychiatry, Taipei Medical University

CS23-5 Countermeasures for addiction in Japan

○Matsumoto Toshihiko
Japanese Society of Psychiatry and Neurology
National Center of Neurology and Psychiatry

〈メインコーディネーター〉 秋山 剛 NTT東日本関東病院

15:30～17:30 シンポジウム70

高齢者のうつ病治療、次の一手

司会：上田 諭 東京さつきホスピタル精神科
古田 光 東京都健康長寿医療センター精神科

S70-1 ガイドラインに基づく高齢者のうつ病治療、次の一手

○伊賀 淳一
愛媛大学医学部附属病院

S70-2 高齢者うつ病治療次の一手 ECT、薬物療法、変性疾患

○古田 光
東京都健康長寿医療センター

S70-3 高齢者うつ病、効果を生む薬の出し方ガイドラインを超えて

○上田 諭
東京さつきホスピタル精神科

S70-4 高齢者の精神病性うつ病の治療

○古野 毅彦
独立行政法人国立病院機構東京医療センター精神科

S70-5 右片側性で始める高齢者うつ病の電気けいれん療法

○安田 和幸
山梨大学医学部精神神経医学

〈メインコーディネーター〉 上田 諭 東京さつきホスピタル精神科



6月23日(金) G会場(パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

8:30~10:30 シンポジウム41

初診患者の精神力動的アセスメントについて

司会：衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室
池田 暁史 大正大学心理社会学部臨床心理学科

S41-1 初回面接における精神力動的アセスメントについて概説する

○岡田 暁宜
慶應義塾大学環境情報学部

S41-2 精神力動的アセスメントは介入の可能性を広げる

○白波瀬 丈一郎
東京都済生会中央病院健康デザインセンター

S41-3 認知行動療法と力動精神医学の初診時アセスメントにおける共通点と相違点

○中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〔指定発言〕

○渡邊 衡一郎
杏林大学医学部精神神経科学教室

〔指定発言〕

○古賀 靖彦
医療法人浜江堂油山病院

〈メインコーディネーター〉 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

10:45~12:45 シンポジウム49

精神医学における個別性と普遍性

司会：村井 俊哉 京都大学医学部附属病院

S49-1 精神医学における反信頼性主義の擁護

○榊原 英輔
東京大学医学部精神神経科

S49-2 2つの精神医学の調停は可能か

○鈴木 貴之
東京大学大学院総合文化研究科

S49-3 2つの個別性—特殊性と一人称的視点

○植野 仙経
京都大学医学部附属病院

S49-4 人の生き方における個別性と普遍性

○田所 重紀
札幌医科大学附属病院

S49-5 精神疾患のネットワークモデルと個別性

○信原 幸弘
東京大学総合文化研究科

〈メインコーディネーター〉 榊原 英輔 東京大学医学部精神神経科

13:15～15:15 シンポジウム60

精神医学におけるconceptual historyの重要性－統合失調症、自閉、両価性

司会：古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

S60-1 精神医学における「概念史」の重要性－Bleuler, E.の業績を中心に

○玉田 有
東京医科大学八王子医療センターメンタルヘルス科

S60-2 両価性：その歴史と現代的意義

○池田 暁史
大正大学心理社会学部臨床心理学科

S60-3 「自閉」概念の変遷：Bleuler, E.からKanner, L.へ

○佐々木 雅明^{1,2}
¹虎の門病院分院、²聖マリアンナ医科大学病院

S60-4 統合失調症群をとりまとめる心理学的全体・臨床的核あるいは核となるゲシュタルト－BleulerからDSMまで－

○大前 晋
国家公務員共済組合連合会虎の門病院精神科

〈メインコーディネーター〉 井上 猛 東京医科大学精神医学分野／
東京医科大学病院メンタルヘルス科

15:30～17:30 シンポジウム71

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける精神科医療機関の役割

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

S71-1 市区町村を中心とした相談支援体制の充実に向け精神科医療機関に求められる役割

○名雪 和美
厚生労働省社会援護局障害保健福祉部精神・障害保健課



S71-2 川口市における医療機関と連携した「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けた取り組み

○岡本 秀行
川口市保健所

S71-3 過疎地において必然的に生まれた「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」

○永田 雅子
医療法人慈和会大口病院

S71-4 精神科診療所による地域ネットワークの展開

○藤原 修一郎
金沢文庫エールクリニック

〔指定発言〕

○長野 敏宏
公益財団法人正光会御荘診療所

〔指定発言〕

○野口 正行
岡山県精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
〈サブコーディネーター〉 野口 正行 岡山県精神保健福祉センター

6月23日(金) H会場(パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

8:30～10:30 シンポジウム42

がん診療において精神科医に何が期待されているのか？

司会：谷向 仁 京都大学医学部附属病院
 秋月 伸哉 がん・感染症センター都立駒込病院精神腫瘍科・メンタルクリニック

S42-1 精神科医への期待ーがん治療との統合

○松本 禎久
 公益財団法人がん研究会有明病院緩和治療科

S42-2 がん医療における遺族のこころのケアと精神科医への期待

○真島 喜幸
 NPO法人パンキャンジャパン

S42-3 サイコオネコロジストの精神科医の役割

○小早川 誠
 広島赤十字・原爆病院精神科

S42-4 がん診療における精神科医の役割とは何かー若手精神科医の視点からー

○五十嵐 江美
 東北大学病院

〈メインコーディネーター〉 秋月 伸哉 がん・感染症センター都立駒込病院精神腫瘍科・メンタルクリニック
 〈サブコーディネーター〉 谷向 仁 京都大学医学部附属病院

10:45～12:45 シンポジウム50

いまなぜグループか？新しいつながり時代の集団精神療法

司会：田辺 等 医療法人北仁会旭山病院

S50-1 オンライングループをめぐる考察

○嶋田 博之
 東日本矯正医療センター

S50-2 ひきこもりと集団精神療法母校的居場所の中で「ひきこもる能力」を獲得すること

○加藤 隆弘
 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S50-3 COVID-19対応看護スタッフに対するコンサルテーション・グループ

○衛藤 暢明
 福岡大学医学部精神医学教室



S50-4 本日にコロナのせいですか？：精神科病院における集団精神療法

○林 公輔
学習院大学文学部心理学科

〔指定発言〕

○岡島 美朗
自治医科大学附属さいたま医療センターメンタルヘルス科

〈メインコーディネーター〉 林 公輔 学習院大学文学部心理学科
〈サブコーディネーター〉 嶋田 博之 東日本少年矯正医療・教育センター医療部

13:15～15:15 シンポジウム61

防ぎえる合併症死亡を減らすため、精神科身体合併症の治療の場を考える

司会：藤田 潔 桶狭間病院藤田こころケアセンター
三宅 康史 帝京大学医学部附属病院救急医学講座

S61-1 一般有床総合病院精神科における身体合併症治療

○長谷川 雄介
富山市立富山市民病院精神科

S61-2 身体合併症の診療に重点を置いた病棟からの報告

○根本 康
さいたま市立病院精神科

S61-3 精神科救急と身体科救急の連携強化ーアウトカム指標を救急車現場滞在時間、救急指令電話回数としてー

○来住 由樹
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

S61-4 急性期病棟および内科病棟を要する精神科病院の地域医療における役割

○北元 健
長谷川病院精神科

S61-5 精神科身体合併症の診療には、救急と精神科両方での臨床経験を持つ救急医の育成も必要である

○寺山 毅郎^{1,2}、戸田 裕之²、吉野 相英²
¹自衛隊中央病院救急科、²防衛医科大学校病院

〔指定発言〕

○杉山 直也
公益財団法人復康会沼津中央病院

〔指定発言〕

○橋本 聡
独立行政法人国立病院機構熊本医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 橋本 聡 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター精神科

15:30～17:30 シンポジウム72

アディクション診療におけるグリーフケア

司会：佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター精神科
長 徹二 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん臨床教育センター

S72-1 自身の振り返りと自死遺族へのグリーフケア

○福田 貴博
医療法人見松会あきやま病院医局

S72-2 グリーフが遺したもの

○射場 亜希子
兵庫県立はりま姫路総合医療センター精神科

S72-3 訪問診療によるアルコール依存症患者の自死について

○眞城 耕志
岩出こころの診療所

S72-4 アディクション診療におけるグリーフケア—患者の死、仲間の死、私にできることは？—

○阿部 かおり
さいがた医療センター看護部

S72-5 アルコールアディクション患者の自死に向き合う時

○齋藤 利和
社会医療法人博友会平岸病院

〔指定発言〕

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 長 徹二 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん
臨床教育センター

〈サブコーディネーター〉 佐久間 寛之 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター
精神科

入來 晃久 大阪精神医療センター



6月23日(金) |会場(パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

8:30~10:30 シンポジウム43

うつ病へのrTMS治療の今後の発展への取り組み

司会：高橋 隼 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
松田 勇紀 東京慈恵会医科大学附属病院精神医学講座

S43-1 rTMS療法と他の治療法の併用療法

○松田 勇紀^{1,3}、鬼頭 伸輔^{1,2}

¹東京慈恵会医科大学附属病院精神医学講座、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻

S43-2 関西TMSネットワークのレジストリデータからみえたこと

○今津 伸一¹、高橋 隼^{2,3,4,5}、戸井 優樹⁶、佐野 祥子⁷、池田 俊一郎⁸

¹大阪医科薬科大学神経精神医学教室、²大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、
³公益財団法人浅香山病院臨床研究研修センター、⁴大阪公立大学リハビリテーション学研究所、
⁵和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室、⁶公益財団法人浅香山病院精神科、
⁷医療法人杏和会阪南病院精神科、⁸関西医科大学精神神経科学講座

S43-3 治療抵抗性うつ病への反復経頭蓋磁気刺激による維持療法

○鬼頭 伸輔

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

S43-4 世界最先端のTMS治療プロトコル(反復QPS法)の開発に向けた特定臨床研究の取り組み

○野田 賀大

慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

【指定発言】

○竹林 実

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 高橋 隼 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
〈サブコーディネーター〉 松田 勇紀 東京慈恵会医科大学附属病院精神医学講座

10:45~12:45 シンポジウム51

様々な生物学的現象から考える精神疾患の病態生理

司会：朴 秀賢 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座
岩田 正明 鳥取大学医学部精神行動医学分野

S51-1 精神病の神経生理学的研究

○平野 羊嗣^{1,2}

¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、²九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S51-2 うつ病の神経炎症仮説とその広がり

○岩田 正明
鳥取大学医学部精神行動医学分野

S51-3 せん妄のエピジェネティクスとゲノム網羅的DNAメチル化解析

○篠崎 元
スタンフォード大学医学部精神科

S51-4 精神疾患の病態生理における成体海馬神経細胞新生の役割

○朴 秀賢
熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 朴 秀賢 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 岩田 正明 鳥取大学医学部精神行動医学分野

13:15～15:15 委員会シンポジウム24 (法委員会)

旧優生保護法における精神科医の果たした役割についての学際的検討

司会：竹島 正 川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター
三野 進 みのクリニック

CS24-1 神奈川県における旧優生保護法の運用実態－県立公文書館所蔵資料の分析

○後藤 基行
立命館大学

CS24-2 診療録を用いた優生手術の実態調査に向けた方法論の開発

○中村 江里¹、後藤 基行²、竹島 正³、三野 進⁴、富田 三樹生⁵
¹広島大学大学院人間社会科学研究科、²立命館大学先端総合学術研究科、
³川崎市総合リハビリテーション推進センター、⁴みのクリニック、
⁵医療法人社団新新会多摩あおば病院

CS24-3 1950年代の北海道の優生保護法の運用と精神科医の関与

○三野 進
みのクリニック

CS24-4 旧優生保護法の運用実態と優生手術の実相－自治体の公文書から

○利光 恵子
立命館大学生存学研究所

〈メインコーディネーター〉 竹島 正 川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター
〈サブコーディネーター〉 三野 進 みのクリニック



15:30～17:30 **委員会シンポジウム27**（自殺予防に関する委員会）

新たな自殺総合対策大綱：見直しに向けて当学会の取り組みと今後の課題

司会：太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学
衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

CS27-1 新たな「自殺総合対策大綱」について

○鈴木 航太
厚生労働省社会・援護局総務課自殺対策推進室

CS27-2 新たな自殺総合対策大綱の改定への当学会からの提言

○大塚 耕太郎^{1,2,3}
¹岩手医科大学神経精神科学講座、²岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、
³岩手県こころのケアセンター

CS27-3 新たな自殺総合対策大綱：自殺未遂者等対策に関する要綱と課題

○河西 千秋
札幌医科大学附属病院

CS27-4 コロナ禍の女性のメンタルヘルスと大綱改定

○八木 淳子
岩手医科大学医学部神経精神科学講座／附属病院児童精神科

CS27-5 子どもの自殺予防対策の課題について

○立花 良之
国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科

〔指定発言〕

○張 賢徳
六番町メンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室
〈サブコーディネーター〉 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

6月23日(金) J会場(パシフィコ横浜ノース 4F G403+G404)

8:30～10:30 **委員会シンポジウム18** (認知症委員会)

精神科医のための認知症診療のピットフォール

司会：三村 将 慶應義塾大学精神神経科学教室
品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

CS18-1 **精神科医のための認知症診療のピットフォール ～症候学的立場から～**

○橋本 衛
近畿大学医学部精神神経科学教室

CS18-2 **精神科医のための認知症診療のピットフォールー画像診断の立場からー**

○小林 良太
山形大学医学部精神医学講座

CS18-3 **精神科医のための認知症診療のピットフォール 認知機能検査の立場から**

○品川 俊一郎
東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

CS18-4 **薬物療法の立場から**

○水上 勝義
筑波大学大学院人間総合科学学術院

〈メインコーディネーター〉 品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科
〈サブコーディネーター〉 橋本 衛 近畿大学医学部精神神経科学教室

10:45～12:45 **委員会シンポジウム22** (精神医学研究推進委員会)

次世代の精神医学研究のあり方：知の統合による課題解決に向けて

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

CS22-1 **当事者・家族の生活が良くなるために、新規科学技術を精神科医療にどう活かすのか？**

○夏苺 郁子
やきつべの径診療所精神科

CS22-2 **AI研究が目指す次世代の精神医学研究**

○荒牧 英治
奈良先端科学技術大学院大学

CS22-3 **次世代の基礎精神医学研究のめざすもの：
疾患病態生理の因果関係をマルチスケールに解明する**

○林 朗子
RIKEN CBS



CS22-4 神経科学と科学技術ガバナンス

○標葉 隆馬
大阪大学社会技術共創研究センター

CS22-5 次世代の精神医学研究に看護学が期待すること

○野末 聖香
慶應義塾大学看護医療学部

〈メインコーディネーター〉 尾崎 紀夫
〈サブコーディネーター〉 橋本 亮太

名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
精神疾患病態研究部

13:15~15:15 シンポジウム62

子供の司法精神医学 –多職種・多組織による包括的なアプローチを目指して–

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
吉岡 眞吾 愛知県精神医療センター

S62-1 非行少年の処遇と司法精神医学のかかわり –少年法の視点を中心に

○吉中 信人
広島大学法学部

S62-2 司法手続きが必要となる子どもたち
(児童相談所での支援が係属する子どもたちを中心に)

○橋本 佳子
名古屋市中央児童相談所

S62-3 児童精神医学と司法精神医学の接点

○安藤 久美子
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

S62-4 自治体・児童相談所・病院との連携で措置入院制度を活用した中学生事例

○吉岡 眞吾
愛知県精神医療センター

〈メインコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
〈サブコーディネーター〉 吉岡 眞吾 愛知県精神医療センター

15:30～17:30 シンポジウム73

マタニティ・ハラスメントを考えるー妊娠・出産を巡るストレスー<日本精神神経科診療所協会推薦>

司会：鬼頭 有代 有希クリニックきとう医院
宮内 和瑞子 医療法人医生会宮内クリニック

S73-1 てんかんをもつ女性の妊娠出産をめぐるメンタルヘルスをどう支えるか

○渡辺 雅子
新宿神経クリニック精神科

S73-2 不妊治療当事者が抱える社会的ストレスを考える

～愛知県不妊・不育相談センターでの事例報告～

○糠谷 敬子^{1,2}、森山 恭子²、外ノ池 隆史²、大須賀 智子¹、大澤 功²
¹愛知県不妊・不育相談センター、²愛知学院大学保健センター

S73-3 コロナ禍のマタニティ・ハラスメントの現状ー労働相談から見える妊娠・出産・育児を担う女性たちの苦悩

○仁田 裕子
女性ユニオン東京

S73-4 妊婦、産婦のメンタルヘルスに影響を与える因子と周産期管理のポイント

○久保 隆彦
代田産婦人科産科

〔指定発言〕

○千葉 裕子
厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課ハラスメント防止対策室長

〈メインコーディネーター〉 鬼頭 有代 有希クリニックきとう医院
〈サブコーディネーター〉 渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科



6月23日(金) K会場(パシフィコ横浜ノース 4F G402)

8:30~10:30 シンポジウム44

精神科へき地医療の新しい時代に向けて

司会：小澤 寛樹 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻精神神経科学

S44-1 山陰におけるへき地支援

○岩田 正明
鳥取大学医学部精神行動医学分野

S44-2 長崎県における離島・へき地支援

○熊崎 博一
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科未来メンタルヘルス学分野

S44-3 鹿児島県における離島・へき地支援

○中村 雅之^{1,2}、松本 一記²
¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、²鹿児島大学病院

S44-4 沖縄県における離島・へき地精神科医療の新しい時代に向けて

○山本 和儀
山本クリニック院長

S44-5 長崎県における児童精神科医療へき地支援体制の構築

今村 明^{1,4}、○山本 直毅¹、三宅 通¹、熊崎 博一^{1,2}、小澤 寛樹³、岩永 竜一郎⁴、
田中 悟郎⁴
¹長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部、
²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科未来メンタルヘルス学、
³長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経科学、⁴長崎大学大学院医歯薬総合研究科作業療法学

〔指定発言〕

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

〈メインコーディネーター〉 小澤 寛樹 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻
精神神経科学

〈サブコーディネーター〉 中村 雅之 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野
岩田 正明 鳥取大学医学部精神行動医学分野

10:45～12:45 シンポジウム52

ハームリダクションを実践、症例ベースで考える

司会：齋藤 利和 社会医療法人博友会平岸病院精神医学研究所
宮田 久嗣 東京慈恵会医科大学精神医学講座

S52-1 ハームリダクションの新たな展開：ハームリダクションに基づく治療的支援

○高野 歩
東京医科歯科大学保健衛生学研究科精神保健看護学分野

S52-2 ハームリダクションをベースにした治療

○湯本 洋介
国立病院機構久里浜医療センター精神科

S52-3 ハームリダクションをベースにしたゲーム障害の予防・啓発活動の実践

○白坂 知彦、常田 深雪
医療法人溪仁会手稲溪仁会病院精神保健科

S52-4 ハームリダクションを活かした治療者-患者関係の形成

○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

〔指定発言〕

○齋藤 利和
社会医療法人博友会平岸病院精神医学研究所

〔指定発言〕

○宮田 久嗣
東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 宮田 久嗣 東京慈恵会医科大学精神医学講座

13:15～15:15 シンポジウム63

新型コロナウイルス感染症の罹患後症状における精神症状の病態と治療の最前線

司会：久我 弘典 国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター
尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

S63-1 新型コロナウイルス感染症罹患後症状の概要

○森岡 慎一郎
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院

S63-2 コロナ後遺症における精神症状の研究と患者レジストリ構築

○高松 直岐^{1,2}、木村 健太郎¹、梅本 育恵¹、久我 弘典¹、鬼頭 伸輔¹
¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、²東京大学医学部附属病院



S63-3 COVID-19後遺症の病態解明と新規治療法開発に向けたストラテジー

○木村 大樹¹、尾崎 紀夫²

¹名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野、

²名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

S63-4 COVID-19 罹患後のメンタルヘルスの問題に対する心理社会介入の動向

杉田 創¹、畑 琴音²、高松 直岐^{1,3}、木村 健太郎^{1,3}、Gonzalez Lecsy³、
Kodaiarasu Krandhasi⁴、Miller Christian³、梅本 育恵¹、村山 桂太郎⁵、中尾 智博⁶、
鬼頭 伸介¹、久我 弘典¹、○伊藤 正哉¹

¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、²早稲田大学人間科学研究科、³コーネル大学、

⁴マククリーン病院、⁵九州大学病院、⁶九州大学大学院医学系学府

〔指定発言〕

○鬼頭 伸輔

国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部

〈メインコーディネーター〉 高松 直岐

国立精神・神経医療研究センター CBT センター

〈サブコーディネーター〉 久我 弘典

国立精神神経医療研究センター認知行動療法センター

15:30～17:30 シンポジウム74

精神科臨床での音楽療法の実践－具体的な技法や患者にみられる変化・効果を中心に

司会：山本 賢司

東海大学医学部専門診療学系精神科学

村林 信行

医療法人社団信俊会心療内科アーツクリニック大崎

S74-1 統合失調症の音楽療法

○馬場 存

駿河台大学心理学部

S74-2 自閉スペクトラム症に対する音楽療法：介入技法とその有用性

○上羽（糟谷）由香^{1,2}

¹白菊園病院リハビリテーション科、²京都大学大学院医学研究科

S74-3 緩和ケア病棟における家族ケアとしての音楽療法の一考察

○伊藤 マミ

聖路加国際病院緩和ケア科

S74-4 復職支援デイケアにおける調整的音楽療法

○森平 直子

相模女子大学

S74-5 大学病院神経精神科での音楽療法 医療者の考える音楽療法の選択基準 研究結果報告

○久松 春子

東京女子医科大学病院

【指定発言】

○村林 信行

医療法人社団信俊会心療内科アーツクリニック大崎

〈メインコーディネーター〉 山本 賢司 東海大学医学部専門診療学系精神科学

〈サブコーディネーター〉 馬場 存 駿河台大学心理学部

阪上 正巳 国立音楽大学



6月23日(金) L会場(パシフィコ横浜ノース 4F G401)

9:10~11:50 **ワークショップ6** (自殺予防に関する委員会)

複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ 【事前申込制】

司会：河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
立花 良之 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科

WS6 〈講演者〉 大塚 耕太郎 岩手医科大学神経精神科学講座
張 賢徳 六番町メンタルクリニック
太刀川 弘和 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学
成田 賢治 札幌医科大学医学部神経精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
〈サブコーディネーター〉 立花 良之 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科

13:15~14:55 **ワークショップ7**

<脳波の基礎コース>精神科医が脳波を学ぶために

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院院長

WS7 〈講演者〉 矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
渡邊 さつき 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
原 恵子 原クリニック精神科
高木 俊輔 東京医科歯科大学病院

〈メインコーディネーター〉 太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院院長
〈サブコーディネーター〉 矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
山内 俊雄 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

15:30~17:10 **ワークショップ8**

<脳波の応用コース>精神科医が脳波を臨床に生かすために

司会：矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
原 恵子 原クリニック精神科

WS8 〈講演者〉 太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院院長
原 恵子 原クリニック精神科
渡邊 さつき 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
高木 俊輔 東京医科歯科大学病院
山内 俊雄 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

〈メインコーディネーター〉 太田 克也 医療法人明柳会恩田第二病院院長
〈サブコーディネーター〉 矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
山内 俊雄 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

6月23日(金) M会場(パシフィコ横浜ノース 4F G411)

8:30～9:42 一般演題(口演) 10
発達障害及び器質性症候性精神障害

司会：鈴木 映二 東北医科薬科大学医学部精神科学教室

2-O10-1 成人ADHD患者における身体疾患の併存に関するデータベース研究
ー併存精神疾患や年齢の影響を含めてー

○高江洲 義和¹、佐藤 優美²、岩田 晋平³、石本 義和²、宮内 秀之³、
Takizawa Patcharapim⁴、近藤 毅¹

¹琉球大学精神病態医学講座、²塩野義製薬株式会社、

³シオノギファーマコビジランスセンター株式会社、⁴武田薬品工業株式会社

2-O10-2 慢性腰痛患者のADHD尺度得点は有意に高く、多動・衝動性と疼痛NRSは相関する

○笠原 諭^{1,2}、松平 浩^{2,3}、佐藤 直子⁴、岡 敬之³、藤井 朋子³、紺野 慎一⁶、菊地 臣一⁶、
丹羽 真一⁵、山田 芳嗣⁷

¹東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター、²福島県立医科大学疼痛医学講座、

³東京大学医学部附属病院22世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座、

⁴東京大学医学部附属病院看護部、⁵福島県立医科大学会津医療センター附属病院、

⁶福島県立医科大学整形外科講座、⁷国際医療福祉大学麻酔科

2-O10-3 慢性疼痛とADHD ー『風と共に去りぬ』の著者マーガレット・ミッチェルの事例ー

○笠原 諭^{1,2}、松平 浩^{2,3}、佐藤 直子⁴、丹羽 真一⁵

¹東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター、²福島県立医科大学疼痛医学講座、

³東京大学医学部附属病院22世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座、

⁴東京大学医学部附属病院看護部、⁵福島県立医科大学会津医療センター附属病院

2-O10-4 原発性アルドステロン症に合併した広場恐怖とパニック発作がエプレレノン内服により改善した一例

○木島 玲緒人、手銭 宏文、井形 亮平、岡本 直通、吉村 玲児

産業医科大学精神医学教室

2-O10-5 抑うつ気分を主訴に受診しCADASILの診断に至った一例

○齊之平 一隆、崎元 仁志、新井 薫、石塚 貴周、佐々木 なつき、福原 竜治、
中村 雅之

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

2-O10-6 発作性運動誘発性ジスキネジアにおける体性感覚定常反応課題時の皮質活動異常

○三笥 良¹、田村 俊介^{1,2}、成 儒彬¹、眞崎 勝久³、平野 昭吾¹、中尾 智博¹

¹九州大学大学院医学研究院精神病態医学、²宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、

³九州大学大学院医学研究院神経内科学教室



9:42~10:54 一般演題（口演）12
精神作用物質使用関連障害

司会：真田 建史 昭和大学精神医学講座

- 2-O12-1 当院における依存症治療としての片頭痛治療に関する鎮痛薬適正化支援外来での取り組みについて
○井上 悟^{1,2}、三島 隆巳知^{1,2}、日高 志緒^{1,2}、伊藤 孝浩^{1,2}、田辺 奈緒美^{1,2}
¹医療法人社団優仁会鈴木神経科病院、²ポプラクリニック
- 2-O12-2 依存症専門外来における市販薬使用障害患者の予備的調査
○西村 康平、板橋 登子、小林 桜児、青山 久美、黒澤 文貴
神奈川県立精神医療センター
- 2-O12-3 依存症専門外来における大麻使用障害患者と覚醒剤使用障害患者の比較検討
○西村 康平、板橋 登子、小林 桜児、青山 久美、黒澤 文貴
神奈川県立精神医療センター
- 2-O12-4 依存症外来での初診5年後予後調査(第2報)－5年間もしくは直近2年間の乱用の有無及び影響因
○板橋 登子、小林 桜児、青山 久美、黒澤 文貴、西村 康平
神奈川県立精神医療センター
- 2-O12-5 ADHDを併存する覚せい剤依存症患者にコンサータ使用を積極的に検討するべきである
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科
- 2-O12-6 コンサータにより断薬ができた重症覚せい剤依存症の1例
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

10:54~11:54 一般演題（口演）14
器質性症候性障害及びリエゾンコンサルテーション

司会：竹内 崇 東京医科歯科大学病院精神科

- 2-O14-1 頭蓋咽頭腫摘出術後に発症したサイコース
○矢野 幹一良、卜部 葉子、成島 健二
公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院精神科
- 2-O14-2 精神科病院における異物誤飲(消化管異物)について
○北元 健、玉井 大地、堀 達
長谷川病院精神科

2-O14-3 経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI)後のせん妄発生率及び生命予後に関する臨床疫学的研究(中間報告)

○綾仁 信貴^{1,2}、大矢 希²、松本 佳大^{2,3}、全 完⁴、成木 迅²

¹独立行政法人国立病院舞鶴医療センター精神科、

²京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、³京都府精神保健福祉総合センター、

⁴京都府立医科大学大学院医学研究科循環器内科学・腎臓内科学

2-O14-4 総合病院身体科入院患者の精神症状の変遷：リエゾン活動におけるCOVID-19流行前後での比較

○松岡 秀樹¹、衛藤 暢明¹、緒方 宗玄¹、鈴木 総一郎¹、矢野 里佳¹、河野 さつき²、堀 輝¹、後藤 玲央¹、川崎 弘詔¹

¹福岡大学医学部精神医学教室、²福岡大学病院看護部

2-O14-5 身体合併症に力点を置いた精神病床を開設してから現在までの軌跡と今後に向けた課題

○根本 康¹、仙波 純一²、黒田 安計³

¹さいたま市立病院精神科、²たかつきクリニック、³さいたま市子ども家庭総合センター

11:54～12:54 一般演題(口演) 16
コロナウィルス感染関連(1)

司会：大溪 俊幸 千葉大学総合安全衛生管理機構

2-O16-1 高校生アスリートのメンタルヘルスに関する調査報告

○矢野 郁明、仲田 祐介、新津 富央、伊豫 雅臣

千葉大学医学部附属病院精神神経科

2-O16-2 長崎大学病院における新型コロナウイルスに関連する職員のストレス状況調査と心理的支援 第3報

○木下 裕久^{1,4}、福原 視美¹、黒木 優子¹、小川 さやか¹、中田 奈々¹、中道 聖子¹、古林 正和¹、西野 友哉^{1,2}、松坂 雄亮^{3,4}、山本 直毅⁴、小澤 寛樹⁴

¹長崎大学保健センター、²長崎大学病院腎臓内科、³長崎県精神医療センター、

⁴長崎大学病院精神科神経科

2-O16-3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行が医療従事者に与えた長期的な心理的影響

○福島 春子¹、今井 必生^{2,3}、宮越 千智⁴、吉川 遼平¹、内藤 敦海¹、大谷 恭平⁵、松石 邦隆¹

¹神戸市立医療センター中央市民病院精神・精神科、²京都大学医学研究科健康増進・行動学分野、

³大橋クリニック、⁴神戸市立医療センター中央市民病院臨床研究推進センター、

⁵加古川中央市民病院精神神経科

2-O16-4 COVID-19の大流行を契機に神経性やせ症を発症した思春期の3例

○中村 佳夏¹、和久田 智靖¹、日比 里彩子¹、神谷 亮²、竹林 淳和¹、山末 英典¹

¹浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科、²医療法人社団凜和会藤枝駿府病院



2-O16-5 当院における精神・神経疾患患者に対する新型コロナウイルス感染症診療の変遷

○稲川 拓磨¹、佐竹 直子²、岡野 宏紀¹、榎田 嵩子¹、宇佐美 高士³、鶴沼 敦¹、
齊藤 勇二¹、佐伯 幸治¹、高野 和夫¹、宇都宮 智¹、有賀 元¹、野田 隆政¹

¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、²国立国際医療研究センター国府台病院、
³北九州市立精神保健福祉センター

13:15～14:15 一般演題（口演）18
コロナウィルス感染関連(2)

司会：小松 尚也 医療法人同和会千葉病院

2-O18-1 新型コロナウイルス感染症発症後11日目の抗原定性検査陽性は、
中等症Ⅱへ至った症例で有意に多い

○八木澤 究、栗林 邦明、猪股 良之、杉山 和
杉山病院精神科

2-O18-2 SARS-CoV-2ワクチン有害事象・副反応:神経精神症状の観点から

○齊尾 武郎
SMBC日興証券健康管理室

2-O18-3 精神科病院の新型コロナのクラスター感染における安価なIT・IoTの活用について

○福田 英道¹、苗 鉄軍²、坪田 聡¹、湯浅 悟¹
¹医療法人明寿会、²株式会社TAOS研究所

2-O18-4 神奈川県立精神医療センターにおけるCOVID-19中等症例治療実績
単科病院での合併症治療のあり方について

○北川 理映子、茨木 丈博、吉 尚彦、金澤 さやか、小林 桜児、石田 正人、田口 寿子
神奈川県立精神医療センター精神科

2-O18-5 疥癬のクラスター感染(集団感染)への対応 ～コロナウイルス感染症との違いについて～

○和田 康夫
赤穂市民病院皮膚科

14:15～15:27 一般演題（口演）19
神経生理学及び睡眠障害

司会：鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系

2-O19-1 精神症状に対しての10秒呼吸下での心拍変動測定

○端谷 毅¹、奥田 明子²
¹はしたにクリニック、²医療法人明宣会奥田内科クリニック

2-O19-2 人間の脳代謝研究データを用いたエネルギー代謝を表す
非化学量論的当量近似方程式の妥当性の検証

○新谷 太
新谷医院

2-O19-3 睡眠・覚醒相後退障害の入院治療効果予測因子の検討

○長尾 賢太郎^{1,2}、吉池 卓也²、河村 葵²、松井 健太郎³、岡邨 しのぶ²、内海 智博²、
都留 あゆみ³、伊豆原 宗人³、木附 隼³、篠崎 未生²、羽澄 恵²、栗山 健一²

¹国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院精神診療部、

²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部、

³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

2-O19-4 反復睡眠潜時検査(MSLT)の後方視的解析

○岡田 一平、谷口 充孝、山野 里恵、黒田 大介、仲野 梨奈、藤井 陽子、杉田 淑子、
大井 元晴

大阪回生病院睡眠医療センター

2-O19-5 統合失調症・うつ病入院患者の睡眠薬処方の年次推移の検討

○中村 敏範¹、降籬 隆二²、長谷川 尚美³、大槻 玲⁴、小高 文聰⁵、古郡 規雄⁶、
村岡 寛之⁷、坪井 貴嗣⁸、越智 紳一郎⁹、市橋 香代¹⁰、堀 輝¹¹、三浦 健一郎³、
松本 純弥³、沼田 周助¹²、渡邊 衡一郎⁸、稲田 健⁷、鷺塚 伸介¹、橋本 亮太³

¹信州大学医学部精神医学教室、²京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター、

³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁴日本大学医学部精神医学系精神医学講座、

⁵東京慈恵会医科大学精神医学講座、⁶獨協医科大学精神神経医学講座、⁷北里大学医学部精神科学、

⁸杏林大学医学部精神神経科学教室、⁹愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、

¹⁰東京大学医学部附属病院精神神経科、¹¹福岡大学医学部精神医学教室、¹²徳島大学精神科神経科

2-O19-6 微量の非定型抗精神病薬は、ベンゾジアゼピン系抗不安薬に代わりうるか - 第2報 -

○宮本 洋
医療法人聖和会つくば病院



6月23日(金) N会場(パシフィコ横浜ノース 4F G412+G413)

8:30~10:10 ワークショップ5

リエゾン精神科医が直面する臨床倫理的課題-生命に関わる身体疾患への治療を拒否する患者へのアプローチ-

司会：和田 健 広島市立病院機構広島市立広島市民病院精神科
西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座

WS5 〈講演者〉

根本 康 さいたま市立病院精神科
和久田 智靖 浜松医科大学医学部附属病院精神神経科
瀧本 禎之 東京大学医学部附属病院
池原 毅和 東京アドヴォカシー法律事務所

〈メインコーディネーター〉 和田 健 広島市立病院機構広島市立広島市民病院精神科
〈サブコーディネーター〉 西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座

10:45~12:45 シンポジウム53

臨床倫理コンサルテーションにおける精神科医の役割

司会：戸田 裕之 防衛医科大学校病院精神科学講座
小川 朝生 国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

S53-1 わが国における臨床倫理コンサルテーションの歴史と実践

○稲葉 一人
いなば法律事務所弁護士

S53-2 がん専門施設における臨床倫理コンサルテーションの取組み

○小川 朝生^{1,2}
¹国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野、
²国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

S53-3 防衛医科大学校病院における臨床倫理コンサルテーションチームの取組み

○戸田 裕之
防衛医科大学校病院精神科学講座

S53-4 岡山県認知症臨床倫理研究会, 5年間の歩みとその後の展開

○寺田 整司¹、近藤 啓子²、石津 秀樹³、稲葉 一人⁴
¹岡山大学病院、²一般財団法人江原積善会積善病院、³公益財団法人慈圭会慈圭病院、
⁴いなば法律事務所

〔指定発言〕

○西村 勝治
東京女子医科大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 戸田 裕之 防衛医科大学校病院精神科学講座
〈サブコーディネーター〉 小川 朝生 国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

13:15～15:15 シンポジウム64

うつ病治療への次なる期待

司会：金沢 徹文 大阪医科薬科大学精神神経科
 竹林 実 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

S64-1 経頭蓋電気刺激療法(tES)使用の未来形 — うつ病治療への可能性 —

○西田 圭一郎¹、金沢 徹文²、木下 利彦¹
¹関西医科大学精神神経科、²大阪医科薬科大学神経精神医学教室

S64-2 fMRIニューロフィードバックを用いたうつ病治療の可能性

○岡田 剛
 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学

S64-3 大阪医科薬科大学病院でのrTMS療法に関する実践

○今津 伸一、金沢 徹文
 大阪医科薬科大学神経精神医学教室

S64-4 マインドフルネス認知療法

○佐渡 充洋^{1,2,3}
¹慶應義塾大学保健管理センター、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、
³慶應義塾大学ストレス研究センター

〈メインコーディネーター〉 金沢 徹文 大阪医科薬科大学精神神経科
 〈サブコーディネーター〉 竹林 実 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

15:30～17:30 委員会シンポジウム28 (精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会)
 精神科医の偏在対策は必要か？：現状と将来への影響

司会：吉村 健佑 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター
 宋 龍平 岡山県精神科医療センター

CS28-1 医師偏在対策の現状とその対応策：専門医制度・シーリングから考える

○吉村 健佑
 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

CS28-2 働き方改革による精神科医の勤務や診療への影響

○福田 正人
 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

CS28-3 精神科救急医療の均てん化と偏在対策

○杉山 直也
 公益財団法人復康会沼津中央病院



CS28-4 5疾病6事業と在宅医療を推進するために必要な精神科医配置を岡山県を例に検討する

○来住 由樹

地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

CS28-5 分岐点にきている総合病院精神科～精神科医の偏在問題を通して

○根本 康

さいたま市立病院精神科

〈メインコーディネーター〉 宋 龍平

岡山県精神科医療センター

〈サブコーディネーター〉 根本 康

さいたま市立病院精神科

6月23日(金) O会場(パシフィコ横浜ノース 4F G414+G415)

8:30～10:30 シンポジウム45

口腔領域の難治性疼痛に対し精神科医は何をすべきか？－歯科医と精神科医との対話から

司会：名越 泰秀 京都第一赤十字病院精神科（心療内科）
宮岡 等 北里大学医学部精神科

S45-1 他覚所見のない口腔領域の愁訴に対する精神科医の関わり

○宮岡 等^{1,2}

¹北里大学、²医薬品医療機器総合機構

S45-2 口腔領域の難治性疼痛治療の現状と精神科との連携を考える
～歯科医師の立場から～

○村岡 渡

川崎市立井田病院

S45-3 難治性疼痛の精神医学的考え方と対応

○宮地 英雄

こころのホスピタル町田精神科

S45-4 口腔領域の難治性疼痛に関して精神科医には何が必要とされているのか？
－総合病院精神科外来の立場から－

○名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科（心療内科）

〈メインコーディネーター〉 宮地 英雄

こころのホスピタル町田精神科

〈サブコーディネーター〉 宮岡 等

北里大学医学部精神科

名越 泰秀

京都第一赤十字病院精神科（心療内科）

10:45～12:45 シンポジウム54

ウィズ・ポストコロナ社会におけるメンタルヘルスケア－遠隔メンタルヘルスケアシステムの社会実装にむけて－

司会：中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター理事
羽藤 邦利 特定非営利活動法人メンタルケア協議会

S54-1 遠隔メンタルヘルスケアシステムKOKOROBOの開発

○中込 和幸¹、藤井 猛¹、岩田 遼¹、飯島 由佳²、久我 弘典¹、鬼頭 伸輔¹、竹田 和良¹、
小居 秀紀¹

¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、²復旦大学上海医学院

S54-2 認知行動変容アプローチを応用したチャットロボットによるメンタルケア
～その特徴と有用性について～

○菊地 俊暁

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室



S54-3 SNS・電話相談アクセスの実態とメンタルヘルス予防への効用

○西村 由紀
特定非営利活動法人メンタルケア協議会

S54-4 市民・患者参画によるメンタルヘルス予防

○吉見 明香¹、藤田 純一²、浅見 剛¹、菱本 明豊^{1,3}
¹横浜市立大学医学部精神科、²横浜市立大学医学部児童精神科、³神戸大学医学部附属病院

S54-5 メンタル・ウェルビーイングの向上をめざしたメンタルヘルスプラットフォーム開発と社会実装(JST COI-NEXT)

○竹田 和良¹、根本 敦¹、岡田 俊²、今井 健³、吉見 明香⁴、山田 悠至⁵、金田 匠海¹、大庭 真梨¹、小居 秀紀¹、中込 和幸⁶
¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部、
²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部、
³東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター医工情報学部門、
⁴横浜市立大学医学部精神医学教室、
⁵国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院司法精神診療部、
⁶国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〔指定発言〕

○大野 裕
大野研究所

〈メインコーディネーター〉 竹田 和良 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門情報管理・解析部臨床研究計画・解析室
〈サブコーディネーター〉 中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター理事

13:15～15:15 シンポジウム65

産・官・学連携による日本におけるTMS療法の普及と拡大に向けて

司会：三村 将 慶應義塾大学精神神経科学教室
野田 賀大 慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

S65-1 オールジャパンTMS療法関連データベース・レジストリプロジェクトの推進に向けた取り組み～企業の視点～

○木崎 淳一郎
株式会社TENNE

S65-2 TMS療法と保険適用について～行政の視点から～

○中田 勝己
厚生労働省保険局医療課

S65-3 日本における治療抵抗性うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法と抗うつ薬治療の比較による費用対効果分析

○野田 賀大
慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

S65-4 日本におけるTMS療法の普及と拡大に向けての提言

○三村 將

慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

〔指定発言〕

○田村 憲久

自由民主党

〈メインコーディネーター〉 盛山 宗太郎 慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

〈サブコーディネーター〉 野田 賀大 慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

15:30～17:30 シンポジウム75

地域連携・地域支援を促進する総合病院精神科医療

司会：小石川 比良来 亀田総合病院
佐藤 茂樹 成田赤十字病院精神神経科

S75-1 山形県置賜地方における有床総合病院精神科を中心とした地域支援
公立置賜総合病院精神科開設22年を通して

○赤羽 隆樹、鈴木 春芳、佐藤 洋三、鈴木 淳也、能登 契介

公立置賜総合病院診療部精神科

S75-2 総合病院における有床精神科の可能性について

○和田 央

大阪赤十字病院

S75-3 富山市立富山市民病院における退院支援とその問題点

○長谷川 雄介

富山市立富山市民病院精神科

S75-4 「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」構築のための地域連携・地域支援

○青木 勉

旭中央病院神経精神科・児童精神科

〈メインコーディネーター〉 佐藤 茂樹 成田赤十字病院精神神経科

〈サブコーディネーター〉 小石川 比良来 亀田総合病院



6月23日(金) P会場(パシフィコ横浜ノース 4F G416+G417)

8:30~10:30 シンポジウム46

新専門医制度施行後の身体科領域の生涯教育について

司会：清水 勇雄 特定医療法人恵風会高岡病院精神科、内科
俊野 尚彦 十条産業保健事務所

S46-1 精神科単科病院での専攻医研修の中で身体的な治療をする際の困難さ、工夫について

○小笹 俊哉
杏和会阪南病院精神科

S46-2 単科精神科病院での身体管理について

○小橋 大輔¹、清水 勇雄²
¹社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター、²医療法人恵風会高岡病院

S46-3 精神科医療で身体科疾患を扱う際の問題点: いま何をすべきか?

○角 幸頼
滋賀医科大学精神医学講座

S46-4 精神科医がベンチャー企業をつくった経験からの共有すべきこと

○物部 真一郎
高知大学

S46-5 精神科医が身体疾患診療を効率的に学ぶ方法を考える

○石田 琢人
東京都立松沢病院

S46-6 専攻医への身体科領域の教育について～自院での関わり・Web勉強会を通じて～

○清水 勇雄
医療法人恵風会高岡病院

〔指定発言〕

○松坂 雄亮
長崎県精神医療センター精神科

〔指定発言〕

○小野 正博
福島県立宮下病院

〔指定発言〕

○長 徹二
一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん臨床教育センター

〈メインコーディネーター〉 清水 勇雄 特定医療法人恵風会高岡病院精神科、内科
〈サブコーディネーター〉 俊野 尚彦 十条産業保健事務所

10:45～12:45 シンポジウム55

精神科はてんかん診療から離れる時期にきているのか？

司会：渡邊 さつき 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院精神科

S55-1 イントロダクション：本シンポジウムを企画した背景

○谷口 豪
国立精神・神経医療研究センター病院精神科

S55-2 てんかん診療の歴史：なぜ日本では精神科医がてんかんを診るのか？

○渡辺 裕貴
医療法人天仁会天久台病院精神科

S55-3 てんかん非専門医の立場から

○古郡 規雄
獨協医科大学精神神経医学講座

S55-4 てんかん診療が精神医療を、リエゾン診療を劇的に良くする：
総合病院精神科医の立場から

○岩城 弘隆^{1,2}
¹八戸市立市民病院精神神経科、²八戸市立市民病院臨床研修センター

S55-5 てんかん医療における最強人材である精神科医に、どうすれば「てんかん医療」を好きになってもらえるか

○柿坂 庸介
東北大学病院てんかん科

〔指定発言〕

○松坂 雄亮
長崎県精神医療センター精神科

〔指定発言〕

○高橋 弘樹
八戸市立市民病院

〈メインコーディネーター〉 岩城 弘隆 八戸市立市民病院精神神経科
〈サブコーディネーター〉 谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院精神科



13:15～15:15 **委員会シンポジウム25** (性別不適合に関する委員会)

精神科医にどのように性別不適合(Gender Incongruence)医療に参入してもらうか

司会：中山 浩 川崎市こども家庭センター
早馬 俊 横浜メンタルクリニック戸塚

CS25-1 **性別違和を抱える子どもに対する医療的ケアの実践と課題、今後の展望**

○岸本 真希子¹、佐々木 掌子²

¹国立成育医療研究センター乳幼児メンタルヘルス診療科、

²明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻

CS25-2 **早く行きたければ一人で、遠くへ行きたければ皆と行こう**

○森井 智美^{1,2,3}

¹医療法人ディープレインテンション日吉心療所、²医療法人貴秋会ちあきクリニック、

³昭和大学医学部精神医学講座

CS25-3 **東北地方における性別不適合医療の現状と解決すべき課題**

○富田 博秋、佐藤 祐太郎、小林 奈津子、菊地 紗耶、林 昌伸、黒沢 是之、渡邊 善、
志賀 尚美、立花 眞仁、山下 慎一、伊藤 明宏、島田 宗昭、今井 啓道
東北大学病院

CS25-4 **性別不適合医療への精神科医の関与の現状と課題：富山県におけるアンケート調査から**

○鈴木 道雄¹、古市 厚志¹、佐武 利彦²、種部 恭子³

¹富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、²富山大学附属病院形成再建外科・美容外科、

³女性クリニックWe! TOYAMA

〈メインコーディネーター〉 中山 浩 川崎市こども家庭センター
〈サブコーディネーター〉 早馬 俊 横浜メンタルクリニック戸塚

15:30～17:30 **シンポジウム76**

精神疾患レジストリの現況報告

司会：神庭 重信 社会医療法人栗山会飯田病院精神科
久住 一郎 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

S76-1 **精神疾患レジストリの意義と目的**

○中込 和幸、吉村 直記、竹田 和良、小居 秀紀

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S76-2 **精神疾患の病態に基づく層別化を目指した臨床情報を具備した血液由来試料の解析**

○尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科

S76-3 **脳神経画像の解析と縦断データに基づく、精神疾患の治療効果及び予後に関する層別化**

○橋本 亮太

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

S76-4 ウェラブルデバイス由来情報に基づく睡眠関連症状の層別化と臨床転帰予測

○三島 和夫

秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座

S76-5 精神疾患領域のレジストリデータに適した統計解析手法の検討

○松山 裕¹、大庭 真梨²、塘 由惟²、神坂 遼²、小居 秀紀²

¹東京大学大学院医学系研究科・生物統計学、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S76-6 TMSデータベース解析によるうつ病患者の層別化と治療反応予測に向けたTMS療法関連レジストリの構築

○野田 賀大

慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

〔指定発言〕

○夏苺 郁子

やきつべの径診療所精神科

〈メインコーディネーター〉 中込 和幸

国立精神・神経医療研究センター理事

〈サブコーディネーター〉 尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学



6月23日(金) Q会場(パシフィコ横浜ノース 4F G418+G419)

8:30~9:18 地方会優秀演題セッション3 <東海・近畿>

司会：神出 誠一郎 東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻精神医学分野

RM3-1 てんかんとして治療歴を有する抗NMDA受容体抗体脳炎の再発が疑われた一例

○西村 晃萌¹、谷口 豪²、宮川 希²、加藤 英生²、長尾 賢太郎¹、佐藤 英樹¹

¹国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、

²国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

RM3-2 精神症状を伴ったビタミンB12欠乏症の1例

○篠田 祐希、佐久間 健二、齋藤 竹生、北島 剛司、岩田 仲生

藤田医科大学医学部精神神経科学講座

RM3-3 選択性緘黙患者に対する治療アプローチ

○月形 遼、二宮 光平、江崎 幸生、岩田 仲生

藤田医科大学病院

RM3-4 意味性認知症における心の理論の検討

○佐久田 静¹、高崎 昭博²、堀田 牧¹、福原 竜治³、石川 智久⁴、池田 学²、竹林 実⁵、
橋本 衛¹

¹近畿大学病院精神神経科学教室、²大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、

³鹿児島大学病院神経科精神科、⁴医療法人洗心会荒尾こころの郷病院精神科、

⁵熊本大学大学院生命科学研究部精神神経医学講座

9:30~10:18 地方会優秀演題セッション4 <近畿・中国・四国>

司会：武井 雄一 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

RM4-1 電気けいれん療法(ECT)における重度の発作誘発困難例への対応と効果について

○菅原 聡真、川島 啓嗣、諏訪 太朗

京都大学医学部附属病院精神科神経科

RM4-2 高齢の統合失調症患者に出現したパーキンソニズムの鑑別・治療にDATscanが有用であった症例

○吉岡 大祐、山梨 豪彦、岩田 正明

鳥取大学医学部附属病院精神科

RM4-3 自験例における刑事精神鑑定への傾向

○青木 岳也

周南病院(山口県)

RM4-4 岡山大学病院におけるケタミンを使用したECT9例の検討

○馬場 悠花里^{1,3}、山田 裕士¹、酒本 真次¹、竹之下 慎太郎¹、寺田 整司²、高木 学²
¹岡山大学病院精神科神経科、²岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学教室、
³岡山県精神科医療センター

10:45～12:45 シンポジウム56

高齢者精神科診療に必要な多様な視点を探る

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科

S56-1 高齢発症てんかんの診断と治療

○曾根 大地
 東京慈恵会医科大学精神医学講座

S56-2 高齢者のうつと自殺

○谷渕 由布子
 医療法人同和会千葉病院精神科

S56-3 老年期の気分障害の背景には脳の変性疾患があるのではないかと考えて治療方針をたてる事が重要である

○芦刈 伊世子
 あしかりクリニック医局

S56-4 高齢者の認知機能低下とトラブルの間に目を向けるー司法精神医学的視点

○岡田 幸之
 国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野

〈メインコーディネーター〉 渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科

13:15～14:15 教育講演6

司会：中里 道子 国際医療福祉大学医学部精神医学精神科

EL6 回避・制限性食物摂取症 (ARFID)ーコロナ禍の影響を受けてー

○高宮 静男
 たかみやこころのクリニック





14:15~15:15 専攻医・初期研修医・学部学生演題（口演）5
若手チャレンジ口演(5)

司会：渡邊 博幸 医療法人学術会木村病院

- 2-KO5-1 高知大学医学部附属病院における児童精神科医のコンサルテーション・リエゾン活動
○中村 朔也、小松 静香、大原 伸騎、藤戸 良子、赤松 正規、津田 敦、數井 裕光、高橋 秀俊
高知大学医学部附属病院
- 2-KO5-2 摂食障害例における家族関係に対する親子双方向の評価：
Family Diagnostic Testを用いた検討
○高畑 賢¹、江間 彩子¹、三澤 史斉¹、児玉 啓輔¹、小村 慶和³、竹内 啓善²
¹地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、³京都大学大学院医学研究科
- 2-KO5-3 神経性やせ症に対するCVポートを用いた治療の有効性に関する検討
○小川 鴻基¹、三井 信幸²、黒鳥 偉作³、豊島 邦義²、藤井 泰²、賀古 勇輝⁴、久住 一郎²
¹市立室蘭総合病院、²北海道大学病院精神科神経科、³北海道大学大学院医学院社会医学講座公衆衛生学教室、⁴北海道大学病院附属司法精神医療センター
- 2-KO5-4 奈良県立医科大学附属病院精神医療センターにおける
COVID19クラスター対応と経済的損失
○赤木 優月¹、中村 明世²、徳谷 純子²、盛本 翼¹、井川 大輔¹、小森 崇史¹、牧之段 学¹、笠原 敬³
¹奈良県立医科大学精神医学講座、²奈良県立医科大学附属病院感染管理室、³奈良県立医科大学感染症センター
- 2-KO5-5 遠隔操作型ロボット(Sota100)を用いた産休育休中の医師支援についての予備的研究
○川原 紘子、冠地 信和、熊崎 博一、今村 明、小澤 寛樹
長崎大学病院精神科神経科

15:30~17:30 シンポジウム77

医薬品・医療機器のエコシステムと精神科医－本邦のレギュラトリーサイエンスに対する精神科医の役割

司会：横井 優磨 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門教育研修部

- S77-1 精神科臨床医のキャリアとしてのPMDA
○大園 啓子^{1,2}
¹横浜市総合リハビリテーションセンター発達支援部、²東海大学医学部総合診療学系精神科学
- S77-2 精神科領域のプログラム医療機器開発におけるPMDAの役割
○古森 亜矢
独立行政法人医薬品医療機器総合機構

S77-3 PMDAの臨床医学担当とアカデミアにおける開発支援の専門性

○西野 良

独立行政法人国立病院機構東尾張病院

S77-4 新薬の開発段階におけるPMDAの関わり

○星野 達郎

独立行政法人医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部

S77-5 PMDAにおける精神科臨床医学担当の役割とその先

○横井 優磨

国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門教育研修部

〈メインコーディネーター〉 横井 優磨 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・
教育研修部門教育研修部



6月23日(金) R会場(パシフィコ横浜ノース 4F G420)

8:30~9:42 一般演題(口演) 11
認知症及び老年期精神障害

司会: 館野 周 日本医科大学精神医学教室

2-O11-1 地域在住高齢者における脳脊髄液体積変化と認知機能障害との関連:
熊本県荒尾市研究

○日高 洋介¹、橋本 衛²、末廣 聖³、福原 竜治⁴、石川 智久⁵、津野田 尚子⁶、
小山 明日香⁷、本田 和揮¹、宮川 雄介¹、吉浦 和宏¹、朴 秀賢⁷、石井 一成⁸、
池田 学³、竹林 実⁷

¹熊本大学病院神経精神科、²近畿大学医学部精神神経科学教室、

³大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、⁴鹿児島大学病院神経科精神科、

⁵医療法人洗心会荒尾こころの郷病院、⁶医療法人医誠会みつぐまち診療所、

⁷熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座、⁸近畿大学医学部放射線医学講座

2-O11-2 ものわすれ予防検診における単一「しりとり」課題施行中の脳酸素化ヘモグロビンの
変動: 嗅覚障害との検討

○児玉 英也^{1,2}、森田 喜一郎^{1,3}、吉村 絵美¹、佐藤 守¹、山下 裕之¹、吉本 幸治¹、
小路 純央¹

¹久留米大学病院精神科、²医療法人社団芳英会宮の陣病院、³特定医療法人社団相和会中村病院

2-O11-3 健忘、物盗られ妄想を呈した両側性視床内側部梗塞
- 脳画像・認知機能検査による検討 -

○坂西 信彦、塩沢 真揮、山下 建昭、渡邊 健次郎

独立行政法人国立病院機構菊池病院

2-O11-4 せん妄は認知症のどれだけの発症リスクになるのか?
~大阪医科薬科大学病院26万人の全例調査に基づく報告~

○南 博也¹、豊田 勝孝¹、畑 武生²、犬山 麻亜弥¹、辻 明里¹、今津 伸一¹、西原 雅美²、
根尾 昌志²、金沢 徹文¹

¹大阪医科薬科大学病院神経精神医学教室、²大阪医科薬科大学病院薬剤部

2-O11-5 口腔の体感幻覚症状を呈した患者における脳機能画像および有効な治療法の検討

○松井 仁美^{1,2}、岡村 毅³、保田 竜太郎^{1,2}、清水 真央^{1,2}、大森 佑貴¹、片岡 宗子^{1,2}、
古田 光^{1,2}

¹東京都健康長寿医療センター精神科、²東京医科歯科大学病院精神科、

³東京都健康長寿医療センター研究所

2-O11-6 レビー小体型認知症の予後に関する研究

○深津 孝英、兼本 浩祐

愛知医科大学精神科学講座

9:42～10:54 一般演題（口演）13
自殺予防、その他

司会：長谷川 直 千葉大学医学部附属病院緩和ケアセンター・精神神経科

2-O13-1 予期せぬ妊娠に対する意思決定とその後の女性の精神健康：
大規模オンライン調査より

○佐々木 那津¹、池田 真里²、西 大輔¹

¹東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、

²東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野

2-O13-2 重篤な境界例に自殺をしない約束を迫ることは得策ではない

○深尾 琢

岐阜大学保健管理センター

2-O13-3 自殺者と非自殺死亡者の体内リチウム濃度比較：眼房水解析

○安藤 俊太郎^{1,8}、鈴木 秀人^{2,5}、松川 岳久³、宇佐美 慧⁴、村松 尚範⁵、福永 龍繁⁶、
横山 和仁³、岡崎 祐士⁷、西田 淳志⁸

¹東京大学医学部附属病院精神神経科、²自治医科大学附属病院、³順天堂医院・メンタルクリニック、

⁴東京大学、⁵東京都監察医務院、⁶科学警察研究所、⁷医療法人厚生会道ノ尾病院、

⁸東京都医学総合研究所

2-O13-4 早期再分極所見におけるST 部分の形状パターンと自殺行動との関連に関する
予備的検討

○亀山 洋^{1,2}、杉本 健一³、小高 文聰²、森 啓輔²、石井 洵平²、忽滑谷 和孝^{1,2}、
繁田 雅弘²

¹東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科、²東京慈恵会医科大学精神医学講座、

³東京慈恵会医科大学循環器内科

2-O13-5 三次救命救急センターに搬送された自殺企図患者を地域にどう繋ぐか？
～地域E-P連携の提案

○白杵 理人^{1,3}、小原 佐衣子¹、松本 俊彦²、長谷川 栄寿¹

¹国立病院機構災害医療センター救命救急科、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

³一般社団法人日本うつ病センター

2-O13-6 がん医療における「医療従事者向け短時間ゲートキーパー研修」の効果について

○木尾 祐子¹、丸中 淳²、西村 晴美²、西海 嘉能²、尾張 夕子²

¹兵庫県立がんセンター精神科、²兵庫県立がんセンター緩和ケア内科



10:54~12:06 一般演題（口演）15

神経画像及び精神病理

司会：兼本 浩祐 中部PNESリサーチセンター

2-O15-1 多施設大規模脳画像データより明らかになった精神疾患の脳内大規模ネットワーク間の因果性結合異常

○石田 卓也^{1,2}、中村 優子^{2,3}、田中 沙織^{4,5}、岡本 泰昌⁶、村井 俊哉⁷、笠井 清登^{2,3,8,9}、川人 光男⁴、小池 進介^{2,3,9}

¹和歌山県立医科大学附属病院神経精神科、²東京大学進化認知研究センター、

³東京大学心の多様性と適応の連携研究機構、⁴国際電気通信基礎技術研究所（ATR）、

⁵奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域、

⁶広島大学大学院医歯薬保健学科医学講座精神神経医学教室、

⁷京都大学大学院医学研究科精神医学教室、⁸東京大学大学院医学研究科精神医学教室、

⁹東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構（IRCN）

2-O15-2 MEGを用いた統合失調症および双極性障害における安静時ネットワークのグラフ理論解析

○武井 雄一¹、須永 匡一¹、加藤 隆^{1,3}、田川 みなみ^{1,2}、須藤 友博²、福田 正人¹

¹群馬大学医学部附属病院、²群馬県立精神医療センター

³医療法人康生会つつじメンタルホスピタル

2-O15-3 精神病理学が臨床精神医学に寄与出来ることに関しての一考察

○鈴木 洋平

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

2-O15-4 現象学的精神病理学からマインドフルネスへ

○根本 豊實

磯ヶ谷病院精神科

2-O15-5 意識や心は唯物論的還元主的アプローチで説明できるのか

○山田 博規

西八王子病院

2-O15-6 最新の意識の研究に基づく精神医学の可能性

○山田 博規

西八王子病院内科

12:06～13:06 一般演題（口演）17

精神保健福祉

司会：塩田 勝利 自治医科大学こころのケアセンター・精神科

2-O17-1 川崎市における社会復帰医療センターの設立とその活動
—政令指定都市の歴史的挑戦から学ぶ

○竹島 正

川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター

2-O17-2 組織・職種・国境をこえた「顔の見える関係」を基礎にした
「こころのケア」ネットワーク作り

○益田 充

日本赤十字和歌山医療センター

2-O17-3 22q11.2欠失症候群の重複障害の解析：療育手帳の有無に伴う医療的困難・ニーズ

○澤井 大和¹、宇野 晃人¹、高橋 優輔¹、田中 美歩¹、金原 明子¹、熊倉 陽介¹、
柳下 祥²、神出 誠一郎¹、笠井 清登¹

¹東京大学医学部附属病院精神神経科、

²東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター構造生理学部門

2-O17-4 障害児医療/福祉の所得制限問題。当事者アンケート100例の結果にて明らかになった
“子育て罰”

○原 紘志

財団法人林精神医学研究所附属林道倫精神科神経科病院

2-O17-5 川崎市における精神障害者保健福祉手帳保有者の特徴分析

○柴崎 聡子¹、清水 寛之²、河野 稔明¹、藤野 雅人¹、田所 由起子¹、石井 美緒¹、
竹島 正¹

¹川崎市総合リハビリテーション推進センターこころの健康課、²川崎市多摩区役所

13:15～14:15 専攻医・初期研修医・学部学生演題（口演）4

若手チャレンジ口演(4)

司会：根本 清貴 筑波大学医学医療系精神医学

2-KO4-1 垂水病院における薬物依存症再発防止プログラム-SMARPP-の有効性について

○野村 政彰^{1,2}、佐々木 寛^{1,2}、高橋 慶子¹、高田 涼平²、井川 大輔²、鳥塚 通弘²、
麻生 克郎¹、山本 訓也¹、牧之段 学²

¹公益財団法人復光会垂水病院、²奈良県立医科大学精神医療センター

2-KO4-2 エチゾラムのinterdose rebound anxietyを呈した2症例

○野中 眞莉、神崎 至乃、仮屋 麻衣、齊之平 一隆、島田 尚子、新井 薫、石塚 貴周、
佐々木 なつき、福原 竜治、中村 雅之

鹿児島大学病院



2-KO4-3 妊娠、出産・授乳を契機に摂食障害、アルコール使用障害を併存する持続性抑うつ障害が改善した1例

○高岡 正和、堀 達
長谷川病院精神科

2-KO4-4 日本におけるうつ病への反復経頭蓋磁気刺激療法の有用性：前向き観察研究

○垂石 七星¹、山崎 龍一¹、松田 勇紀¹、林 大祐^{1,2}、五十嵐 俊²、鬼頭 伸輔^{1,2}、
繁田 雅弘¹
¹東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

2-KO4-5 電気けいれん療法後の体温変化とうつ症状の改善との関連性の調査

○河瀬 希望、渡辺 杏里、大矢 希、松岡 照之、富永 敏行、成木 迅
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

14:15~15:27 専攻医・初期研修医・学部学生演題（口演）6
若手チャレンジ口演(6)

司会：片桐 直之 東邦大学医学部精神神経医学講座

2-KO6-1 クロザピンによる過活動膀胱の発現メカニズムの解明と臨床的指標の探索

○可児 涼真¹、成田 尚²、石川 修平²、久住 一郎³
¹北海道大学医学部、²北海道大学病院精神科神経科、
³北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

2-KO6-2 抑うつを伴うAt-risk mental state (ARMS)における事象関連電位の特徴

○天能 雅人¹、樋口 悠子^{2,3}、立野 貴大^{2,3}、中島 英^{2,3}、金子 直史^{2,3}、水上 裕子²、
赤崎 有紀子²、笹林 大樹^{2,3}、高橋 努^{2,3}、鈴木 道雄^{2,3}
¹富山大学医学部医学科、²富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、
³富山大学研究推進機構アイドリング脳科学研究センター

2-KO6-3 児童思春期・発達障害外来における初診時自記式心理検査のスコア間相互関連要因の機械学習による評価の試み

○小川 軌明¹、三好 紀子^{2,3}、松本 恵^{3,4}、金井 講治⁵、佐久田 静⁶、藪田 拓哉⁷、池田 学⁶
¹大阪大学医学部医学科、
²大阪大学大学院連合小児発達学研究科子どものこころの分子制御機構研究センター、
³大阪大学大学院医学系研究科精神医学、
⁴大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学寄付講座、
⁵大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター保険管理部門、
⁶近畿大学病院精神神経科学教室・メンタルヘルス科、
⁷大阪大学大学院人間科学研究科臨床心理学分野

2-KO6-4 リチウム中毒後に長期に神経障害が残存した一例

○渡部 倫太郎¹、姜 善貴²、村岡 寛之²、西川 大曜²、三宅 慎²、上村 幸正²、
鈴木 龍太郎³、小川 陽子²、稲田 建²
¹北里大学病院、²北里大学医学部精神科学、³北里大学医学部精神科学地域児童精神科医療学

2-KO6-5

異常行動の対応に苦慮した成人発症II型シトルリン血症の一例

○山崎 慎一¹、鷺塚 伸介²、横塚 紗永子²、鴻池 紗耶²、日根野 晃代³、矢崎 正英⁴

¹信州大学医学部附属病院卒後臨床研修センター、²信州大学医学部附属病院精神科、

³信州大学医学部附属病院脳神経内科、

⁴信州大学医学部信州大学先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所

2-KO6-6

レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)オープンデータを用いた電気痙攣療法の臨床疫学

○雨宮 大晟¹、早川 達郎²、近藤 忠之²、柳内 秀勝¹、吉村 健佑³、酒匂 赤人¹

¹国際医療研究センター国府台病院総合内科、²国際医療研究センター国府台病院精神科、

³千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

15:45～17:45 シンポジウム78

COVID-19後遺症を含めた新しい形の認知機能障害とその援助

司会：谷向 仁

京都大学医学部附属病院

小川 朝生

国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

S78-1

せん妄と認知機能障害

○井上 真一郎

新見公立大学

S78-2

COVID-19と認知機能障害

○大谷 恭平

地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院精神神経科

S78-3

COVID-19関連認知機能障害

○小川 朝生^{1,2}

¹国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野、

²国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

S78-4

がんに関連した認知機能障害へのリハビリテーション評価と援助

○齊田 和哉、金子 史子、岡村 仁

広島大学医系科学研究科精神機能制御科学研究室

〈メインコーディネーター〉 大谷 恭平

地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院精神神経科



6月23日(金) 国際委員会会場(パシフィコ横浜ノース 3F G320)

15:30~17:30 **Leaders Round Table** (国際委員会)

各国精神医学会の協力について

Chairpersons : 高橋 英彦 東京医科歯科大学病院
秋山 剛 NTT東日本関東病院

[Speakers] 高橋 英彦 東京医科歯科大学病院
Petros Levounis American Psychiatric Association
Elizabeth Moore Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists
Ming-Chyi Huang Taiwanese Society of Psychiatry

<Coordinator> 秋山 剛 NTT東日本関東病院

6月23日(金) ポスター会場(パシフィコ横浜ノース 1F G1～G4)

10:45～11:25 関連学会優秀演題ポスター2

日本精神科救急学会・日本社会精神医学会・日本総合病院精神医学会・日本うつ病学会

司会：須田 史朗 自治医科大学精神医学講座

RS2-1 わが国における措置入院を含む非自発的入院制度運用の地域格差の分析

－Gini係数による可視化の試み－

○花岡 晋平^{1,2}、松本 邦愛²、中西 健太³、石川 敬子¹、深見 悟郎¹、平田 豊明^{1,4}

¹千葉県精神科医療センター、²東邦大学医学部 社会医学講座、³医療法人生生会 松蔭病院、

⁴医療法人学而会 木村病院

RS2-2 精神的な問題を抱える親の養育困難に関する調査

○田中 裕子、森田 展彰、斎藤 環、大谷 保和

筑波大学

RS2-3 わが国の判例からみたDV(ドメスティック・バイオレンス)被害者の現状と課題

－男性被害者の検討－

○森下 順子

自治医科大学精神医学講座

RS2-4 地域生活中の精神障害者のセルフ・スティグマに関連する要因についての検討

－精神障害者の家族や身近なものが持つスティグマに対する捉え方を中心に－

○浦山 悠子、斎藤 環、森田 展彰、大谷 保和

筑波大学

RS2-5 乳がんサバイバーの再発恐怖に対するスマートフォン精神療法の有効性

－分散型無作為割付比較試験

○明智 龍男¹、内田 恵¹、今井 文信¹、古川 壽亮²、内富 庸介³

¹名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知行動医学、

²京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学、³国立がん研究センターがん研究所

RS2-6 治療抵抗性抑うつエピソードに対する深部経頭蓋磁気刺激療法の有効性と安全性の検討：偽刺激対照無作為化二重盲検比較試験

○松田 勇紀^{1,2}、山崎 龍一¹、五十嵐 良雄³、繁田 雅弘¹、鬼頭 伸輔^{1,4}

¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、²京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、

³メディカルケア虎ノ門・大手町、⁴国立精神・神経医療研究センター病院



11:45~12:25 関連学会優秀演題ポスター3

日本不安症学会・日本うつ病学会

司会：佐々木 司 東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野

RS3-1 通常治療と比較した強迫症のガイド付きインターネット認知行動療法の有効性：
多施設ランダム化比較試験

○松本 一記^{1,2}、濱谷 沙世^{2,3}、小坂 浩隆^{3,4}、友田 明美³、片山 寛人⁵、高橋 純平²、
須藤 千尋⁶、鈴木 太³、牧野 拓也^{3,4}、新野 青那⁷、井階 友貴⁷、林 寛之⁸、清水 栄司^{2,6,9}

¹鹿児島大学病院臨床心理室、²千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、

³福井大学子どものこころの発達研究センター、

⁴福井大学医学系部門医学領域病態制御医学講座精神医学、⁵こころとからだクリニック福井、

⁶千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、

⁷福井大学医学系研究科統合先進医学専攻地域医療統合コース、

⁸福井大学医学系部門医学領域（附属病院）総合診療部、

⁹千葉大学医学部附属病院認知行動療法センター

RS3-2 社交不安症と閾値下社交不安の神経基盤の差異

○佐々木 翼^{1,2}、大田 淳子^{1,3}、野田 義和¹、鎌下 莉緒¹、吉田 斎子¹、栗田 幸平^{1,2,3}、
Ritu Bhusal Chhatkuli¹、荒木 謙太郎¹、大平 育世¹、松本 浩史⁴、榎田 喜正⁴、
清水 栄司^{1,3,5}、平野 好幸^{1,2,3}

¹千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、²大阪大学大学院連合小児発達学研究所、

³量子科学技術開発研究機構、⁴千葉大学医学部附属病院放射線部、

⁵千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

RS3-3 オピオイドδ受容体作動薬は代理社会的敗北ストレスモデルにおける
過敏性腸症候群様症状を改善する

○山崎 万有奈¹、吉岡 寿倫¹、大橋 美咲¹、松本 健次郎⁴、小俣 知貴¹、濱野 匠¹、
公木 彩夏¹、岡野 功太郎¹、小林 里帆¹、飯尾 啓太²、山田 大輔¹、羽田 紀康³、
加藤 伸一⁴、長瀬 博²、斎藤 顕宜¹

¹東京理科大学薬学部薬理学研究室、²筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構創薬化学研究室、

³東京理科大学薬学部生薬・薬用植物学研究室、⁴京都薬科大学薬学部病態薬科学系薬物治療学分野

RS3-4 中高生における精神病様体験と希死念慮・自傷行為の縦断的関連性

○周 瑞、山口 智史、西田 明日香、小川 佐代子、東郷 史治、佐々木 司
東京大学教育学研究科

RS3-5 難治性うつ状態患者における認知機能とその後の生活の質の改善度との関連

○大江 悠樹^{1,2}、栗原 真理子^{1,2}、櫻井 準^{1,2}、坪井 貴嗣^{1,2}、片桐 建志^{1,2}、早坂 友成^{2,3}、
二田 未来^{2,3}、長島 泉^{2,3}、青鹿 由紀³、小野田 直子⁴、渡邊 衛一郎^{1,2}

¹杏林大学医学部精神神経科学教室、²杏林大学医学部付属病院、³杏林大学保健学部作業療法学科、

⁴医療法人社団慶神会武田病院

13:15～14:00 一般演題（ポスター）8
統合失調症(1)

司会：西本 雅彦 医療法人社団青木末次郎記念会相州病院医局

2-P8-1 統合失調症薬物治療ガイドライン/うつ病治療ガイドラインへの治療適合度 (individual fitness score) の開発

○福本 健太郎¹、稲田 健²、小高 文聰^{3,4}、長谷川 尚美⁴、村岡 寛之²、堀 輝⁵、市橋 香代⁶、安田 由華⁷、飯田 仁志⁵、大井 一高⁸、越智 紳一郎⁹、松本 純弥⁴、三浦 健一郎⁴、古郡 規雄¹⁰、渡邊 衡一郎¹¹、大塚 耕太郎¹、橋本 亮太⁴

¹岩手医科大学医学部神経精神科学講座、²北里大学医学部精神科学教室、

³東京慈恵会医科大学精神医学講座、

⁴国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

⁵福岡大学医学部精神医学教室、⁶東京大学医学部附属病院精神神経科、

⁷生きる育む輝くメンタルクリニック、⁸岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野、

⁹愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学、¹⁰獨協医科大学医学部精神神経医学講座、

¹¹杏林大学医学部精神神経科学教室

2-P8-2 持効性注射剤に関するアンケート調査の結果とアンケートがもたらした患者への影響について

○橋本 和子

社会医療法人芳和会菊陽病院

2-P8-3 日本人統合失調症患者における blonanserin テープ長期貼付による寛解～治験データの事後解析～

○井上 善文¹、中村 洋¹、松本 裕司¹、嶋 泰一¹、渡部 恵²

¹住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、²住友ファーマ株式会社データサイエンス部

2-P8-4 統合失調症患者における blonanserin テープの有効性、安全性、薬物動態の性別比較～治験データ～

○井上 善文¹、松本 裕司¹、西部 宏紀²、渡部 恵³

¹住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、²住友ファーマ株式会社臨床企画部、

³住友ファーマ株式会社データサイエンス部

2-P8-5 統合失調症患者の Life Engagement に対する ルラシドンの影響：JEWEL 試験の post hoc 解析

○三浦 至¹、佐野 文哉²、坂口 玲子³、岡本 恵佑⁴、高井 健太郎⁵、丸山 秀徳⁵

¹福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、²住友ファーマ株式会社データサイエンス部、

³住友ファーマ株式会社臨床企画部、⁴住友ファーマ株式会社臨床推進部、

⁵住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部



13:15~14:00 一般演題（ポスター）9

統合失調症及び地域精神医療

司会：小松 浩 東北大学病院精神科

2-P9-1 Prader-Willi症候群に併発した統合失調症にアリピプラゾールが有効であった一例

○萩倉 美奈子¹、稲田 俊也²、田中 有華¹、松永 由美子¹、鈴木 幸恵¹、嶋 宏昭¹、
西垣 誠¹、園田 学¹、新藤 琢生¹、坪井 重博¹

¹豊田西病院精神科、²名古屋大学医学部附属病院

2-P9-2 New long-stay患者における自閉性特性と多飲症との関連についての調査

○小松 浩^{1,2}、大野 高志²、尾之内 勇治²、小野口 豪³、米田 芳則²、富田 博秋^{1,3}、
角藤 芳久²

¹東北大学病院精神科、²宮城県立精神医療センター、³東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

2-P9-3 統合失調症患者の認知機能に対する精神科医アンケート調査結果

○遠矢 俊司¹、高井 健太郎¹、増田 孝裕¹、中川 伸²

¹住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、
²山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

2-P9-4 精神科救急病棟における精神保健福祉士等の人員配置と治療アウトカムとの関連
－厚労科研全国実態調査－

○鈴木 耕輔¹、新津 富央¹、木村 大^{1,2,3}、柳澤 雄太²、小野 まり奈⁴、小松 英樹⁴、
吉村 健佑⁴、渡邊 博幸^{2,5}、伊豫 雅臣¹

¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、²医療法人学術会木村病院、³国際医療福祉大学、
⁴千葉大学医学部附属病院、⁵千葉大学社会精神保健教育研究センター

2-P9-5 地方精神科病院の多職種チームによるIPS(Individual Placement and Support)の
実践

○福武 周作、中岡 恵理、尾宮 和咲、河原 理華、高井 優花、新井 亨、原田 紀行、
佐藤 創一郎、引地 充

社会医療法人高見徳風会希望ヶ丘ホスピタル

13:15~14:00 一般演題（ポスター）10

気分(感情)障害及び高齢期精神障害

司会：赤羽 晃寿 帝京大学医学部精神神経科学講座

2-P10-1 地域高齢男性を対象とした睡眠充足度と概日活動リズムの関連

○内海 智博^{1,2}、吉池 卓也²、有竹 清夏³、松井 健太郎²、河村 葵²、長尾 賢太郎²、
伏見 もも^{2,3}、都留 あゆみ²、木附 隼^{2,4}、羽澄 恵²、斎藤 かおり⁴、鈴木 正泰⁴、
栗山 健一²

¹東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科、

²国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部、

³埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科/保健医療福祉学部健康開発学科、

⁴日本大学医学部精神医学系精神医学分野

2-P10-2

高齢者うつ病の経時的脳形態学的変化

○下田 健吾¹、木村 真人^{1,3}、館野 周²

¹日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、²日本医科大学付属病院、³北総メンタルクリニック

2-P10-3

高齢者うつ病の発症前から認知症に至る12年間追跡することができた1症例の経時的脳形態学的変化

○下田 健吾¹、菅沼 慶¹、齋藤 晴紀¹、山口 裕太郎¹、館野 周²

¹日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、²日本医科大学付属病院

2-P10-4

うつ病との鑑別が問題となったFTLD-tauの一例

○木村 朴^{1,2}、河上 緒^{1,2,3}、池田 研二^{2,3}、永倉 暁人^{1,2}、新里 和弘²、大島 健一²、長谷川 成人³、加藤 忠史¹

¹順天堂大学医学部精神医学講座、²東京都立松沢病院精神科、

³東京都医学総合研究所認知症プロジェクト

2-P10-5

メトホルミンによるせん妄リスクおよび死亡率の低減の可能性：後ろ向きコホート研究

○山梨 豪彦^{1,2,3}、岩田 正明⁴、篠崎 元^{2,3}

¹鳥取大学医学部附属病院、²スタンフォード大学、³アイオワ大学、⁴鳥取大学医学部

13:15～14:00 一般演題（ポスター）11

発達障害及び強迫性障害

司会：松澤 大輔 新津田沼メンタルクリニック

2-P11-1

精神科病院に入院中の強度行動障害を伴う自閉症スペクトラム障害患者に自立課題の手法を用いた一例

○難波 達顕、原田 俊樹、大矢 芳男、中田 圭一、白形 鷹博、兒玉 昌純、樋口 裕二
さきがけホスピタル

2-P11-2

NODDIを用いた自閉スペクトラム症のPTSD症状と脳灰白質微小構造の関連についての検討

○北村 聡一郎^{1,2}、松岡 究^{1,2}、高橋 誠人¹、吉川 裕晶¹、石田 理緒¹、岸本 直子¹、橋本 亮太³、安田 由華^{3,4}、宮坂 俊輝⁵、吉川 公彦⁵、牧之段 学¹

¹奈良県立医科大学精神科、²量研機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究部、

³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

⁴医療法人フォスター、⁵奈良県立医科大学放射線・核医学科

2-P11-3

自閉スペクトラム症の傾向を認める造血細胞移植患者の精神医学的特徴

○大西 雄一¹、三上 克央¹、赤間 史明²、高橋 有記¹、木本 啓太郎¹、山本 賢司¹

¹東海大学医学部総合診療学系精神科学、²医療法人芳州会村井病院

2-P11-4

強迫症専門クリニックにおける診療実績－原井クリニック診療実績

○原井 宏明、松浦 文香

原井クリニック精神科



2-P11-5 強迫症に対する動画モバイル治療(Mobi-Therapy)の効果：パイロット研究

○今井 必生^{1,2}、古川 壽亮²

¹大橋クリニック医局、²京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野

14:15~15:00 一般演題（ポスター）12

妊娠および児童思春期関連

司会：赤穂 理絵 東京女子医科大学精神医学講座

2-P12-1 深層学習を用いた妊婦の心拍情報によるメンタルヘルスと睡眠状況の予測手法の開発

○李 雪¹、Chiaki Ono²、Noriko Warita²、Tomoka Shoji¹、Takashi Nakagawa^{1,2}、Hitomi Usukura²、Zhiqian Yu²、Yuta Takahashi²、Kei Ichiji⁴、Norihiro Sugita⁵、Natsuko Kobayashi²、Saya Kikuchi²、Yasuto Kunii²、Keiko Murakami³、Mami Ishikuro³、Taku Obara³、Tomohiro Nakamura⁶、Fuji Nagami⁷、Takako Takai⁶、Soichi Ogishima⁶、Junichi Sugawara⁸、Tetsuro Hoshiai⁹、Masatoshi Saito⁹、Gen Tamiya¹⁰、Nobuo Fuse¹⁰、Shinichi Kuriyama³、Masayuki Yamamoto⁹、Nobuo Yaegashi⁹、Noriyasu Honma⁴、Hiroaki Tomita^{1,2,7,8}

¹東北大学医学系研究科精神神経学分野、²東北大学病院精神科、

³東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学、

⁴東北大学医学系研究科医用画像工学分野、⁵東北大学工学研究科・工学部、

⁶東北大学東北メディカル・メガバンク機構医療情報ICT部門、⁷東北大学災害科学国際研究所、

⁸東北大学東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門、⁹東北大学医学系研究科周産期医学、

¹⁰東北大学東北メディカル・メガバンク機構ゲノム解析部門

2-P12-2 妊婦における精神神経用剤服薬および心理的苦痛の有無と

2歳時点の児の行動特性との関連

○高橋 一平¹、小原 拓^{1,2,3}、菊地 紗耶^{4,5}、小林 奈津子^{4,5}、小原 竜^{1,6}、野田 あおい^{1,2,3}、上野 史彦^{1,2}、大沼 ともみ^{1,2}、村上 慶子^{1,2}、石黒 真美^{1,2}、富田 博秋^{2,4,5,7}、栗山 進一^{1,2,8}

¹東北大学大学院医学系研究科分子疫学分野、

²東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門、³東北大学病院薬剤部、

⁴東北大学病院精神科、⁵東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、⁶川崎こころ病院薬剤科、

⁷東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、

⁸東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野

2-P12-3 子ども時代の逆境の体験(ACEs)と産後1ヶ月時のエジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)に関する後方視的調査

○本多 笑奈¹、川村 花恵²、福本 健太郎¹、大塚 耕太郎¹

¹岩手医科大学神経精神科学講座、²岩手医科大学産婦人科学講座

2-P12-4 精神疾患患者の子育て支援—親子を対象としたインタビュー調査から—

○松岡 美智子、大江 美佐里、内村 直尚、小曾根 基裕

久留米大学医学部精神神経科

2-P12-5 小学生の感情や行動に影響する因子に関するパス解析結果

○松岡 美智子^{1,2}、松石 豊次郎^{2,4}、永光 信一郎^{2,5}、角間 辰之³、内村 直尚¹、小曾根 基裕¹

¹久留米大学医学部精神神経科、²久留米大学医学部小児科、³久留米大学バイオ統計センター、⁴社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院、⁵福岡大学病院

14:15～15:00 一般演題（ポスター）13

コロナ感染症関連及びストレス関連

司会：井手本 啓太 千葉大学医学部附属病院精神神経科

2-P13-1 COVID-19パンデミックの前後における大学職員の精神的ストレスの変化に関する検討

○谷藤 貴紀¹、毛利 健太郎²、山本 泰司²、青山 慎介¹

¹神戸大学附属病院精神科神経科、

²神戸大学インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター保健管理部門

2-P13-2 COVID-19流行開始1年後の大学病院職員の心理的影響調査(第2回) - 流行初期の第1回調査と比較して -

○井出 恵子^{1,2}、浅見 剛²、野本 宗孝²、菱本 明豊²

¹横浜市立大学附属病院精神科、²横浜市立大学医学部精神医学教室

2-P13-3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する感染防御行動と心理社会的状態の関連

○井手本 啓太¹、新津 富央¹、椎名 明大²、小堀 修³、小野寺 みさき⁴、太田 貴代光¹、宮澤 惇宏¹、橘 真澄¹、木村 允¹、関 亮太¹、橋本 佐⁵、吉村 健佑⁶、伊藤 彰一⁴、中里 道子⁵、五十嵐 禎人²、清水 栄司⁷、伊豫 雅臣^{1,2}

¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、²千葉大学社会精神保健教育研究センター、

³国際医療福祉大学心理学科、⁴千葉大学大学院医学研究院医学教育学、

⁵国際医療福祉大学精神神経科、⁶千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター、

⁷千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

2-P13-4 静岡県新型コロナウイルス感染症対応医療機関における医療従事者のメンタルヘルスサポート事業の調査結果

○亀野 陽亮^{1,2}、西村 倫子³、内藤 由美²、浅井 大輔^{1,2}、井上 淳^{1,2}、望月 洋介^{1,2}、磯部 智代^{1,2}、花田 敦子⁴、榎本 紀之²、山末 英典^{1,2}

¹浜松医科大学精神医学講座、²浜松医科大学保健管理センター、

³浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、⁴浜松医科大学医学部附属病院看護部

2-P13-5 医療従事者を対象としたヨガ療法による情緒的消耗への影響：単群前後比較試験

○猪飼 紗恵子^{1,2}、神山 咲樹³、宗 未来³、三村 将¹、内田 裕之¹

¹慶應義塾大学精神・神経科学教室、²医療法人くすのき会南飯能病院、³東京歯科大学市川総合病院



14:15~15:00 一般演題（ポスター）14
気分(感情)障害(2)

司会：佐藤 愛子 国際医療福祉大学成田病院精神科／千葉大学大学院医学研究院精神医学

2-P14-1 解離性障害・転換性障害の背後に潜む気分障害についての検討

○木村 敦史、新津 富央、伊豫 雅臣
千葉大学医学部附属病院精神神経科

2-P14-2 新規評価尺度(ERPD-24)を用いた気分障害患者のライフイベントに関連する心理的苦悩の検討

○石井 宏樹^{1,2}、橋本 佐^{1,2}、佐藤 愛子^{1,2}、田中 麻未³、関 亮太^{1,4}、小川 道¹、
木村 敦史¹、中里 道子²、伊豫 雅臣¹
¹千葉大学医学部精神医学教室、²国際医療福祉大学成田病院、
³千葉大学社会精神保健教育研究センター、⁴医療法人同和会千葉病院

2-P14-3 双極性障害患者の認知機能に対する精神科医アンケート調査結果

○増田 孝裕¹、遠矢 俊司¹、高井 健太郎¹、中川 伸²
¹住友ファーマ株式会社メディカルアフェアーズ部、
²山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

2-P14-4 リアルワールドにおける双極性障害外来患者の入院予測因子

○徳満 敬大¹、古郡 規雄¹、足立 直人²、窪田 幸久²、渡辺 洋一郎²、三木 和平²、
阿瀬川 孝治²、枝川 浩二²、勝元 榮一²、本郷 誠司²、後藤 英一郎²、上田 均²、
加藤 正樹³、中川 敦夫⁴、菊地 俊暁⁵、坪井 貴嗣⁶、渡邊 衡一郎⁶、下田 和孝¹、
吉村 玲児⁷
¹獨協医科大学精神神経医学講座、²日本精神神経科診療所協会、³関西医科大学精神神経科学講座、
⁴聖マリアンナ医科大学神経精神科、⁵慶應義塾大学精神神経科学教室、
⁶杏林大学医学部精神神経科学教室、⁷産業医科大学精神医学教室

2-P14-5 抗パーキンソン病薬中止によって衝動制御障害(露出障害)に伴う抑うつ症状が改善した1例

○右田 香奈枝¹、岡本 直通¹、池ノ内 篤子^{1,2}、橋本 智代³、足立 弘明³、吉村 玲児¹
¹産業医科大学医学部精神医学教室、²産業医科大学病院認知症センター、
³産業医科大学医学部神経内科学講座

14:15~15:00 一般演題（ポスター）15
精神保健福祉

司会：村松 太郎 慶應義塾大学医学部精神神経科

2-P15-1 当院の外国人入院患者の実態調査研究

○中島 えり菜、是木 明宏、森口 翔、加治 正喬、岡田 麻衣、岩村 慧、須藤 亜紗実
国立病院機構下総精神医療センター

2-P15-2

**精神保健福祉法第24条に基づく検察官通報の現状把握に関する研究(その1)
通報・事前調査について**

○瀬戸 秀文¹、稲垣 中²、太田 順一郎³、小口 芳世⁴、島田 達洋⁵、椎名 明大⁶、
中西 清晃⁷、中村 仁⁸、小池 純子⁷、藤井 千代⁷

¹福岡県立精神医療センター太宰府病院精神科、²青山学院大学、³岡山市こころの健康センター、
⁴聖マリアンナ医科大学病院、⁵栃木県精神保健福祉センター、⁶千葉大学医学部附属病院精神神経科、
⁷国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁸長崎県精神医療センター

2-P15-3

**精神保健福祉法第24条に基づく検察官通報の現状把握に関する研究(その2)
指定医診察例について**

○瀬戸 秀文¹、稲垣 中²、太田 順一郎³、小口 芳世⁴、島田 達洋⁵、椎名 明大⁶、中西 清晃⁷、
中村 仁⁸、小池 純子⁷、藤井 千代⁷

¹福岡県立精神医療センター太宰府病院精神科、²青山学院大学、³岡山市こころの健康センター、
⁴聖マリアンナ医科大学病院、⁵栃木県精神保健福祉センター、⁶千葉大学医学部附属病院精神神経科、
⁷国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁸長崎県精神医療センター

2-P15-4

措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究 退院2年後の治療状況

○瀬戸 秀文^{1,5}、稲垣 中²、島田 達洋³、大塚 達以⁴、岩永 英之⁵、中西 清晃⁶、中村 仁⁷、
渡辺 純一⁸、横島 孝至⁹、奥野 栄太¹⁰

¹福岡県立精神医療センター太宰府病院精神科、²青山学院大学、³栃木県精神保健福祉センター、
⁴東北大学病院、⁵独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、
⁶国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁷長崎県精神医療センター、
⁸公益財団法人井之頭病院、⁹公益財団法人復康会沼津中央病院、¹⁰医療法人一灯の会沖縄中央病院

2-P15-5

措置診察を担当する精神保健指定医の招聘システムの各自治体における現状について

○瀬戸 秀文¹、稲垣 中²、太田 順一郎³、小口 芳世⁴、島田 達洋⁵、椎名 明大⁶、
中西 清晃⁷、中村 仁⁸、小池 純子⁷、藤井 千代⁷

¹福岡県立精神医療センター太宰府病院精神科、²青山学院大学、³岡山市こころの健康センター、
⁴聖マリアンナ医科大学病院、⁵栃木県精神保健福祉センター、⁶千葉大学医学部附属病院精神神経科、
⁷国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁸長崎県精神医療センター

15:30～16:10 **専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）5**
緩和ケア・器質性精神疾患

司会：杉原 玄一 東京医科歯科大学精神行動医学分野

2-KP5-1

単科精神病院における緩和ケアの取り組み

○積 豪英、尾上 毅、橋本 和子
社会医療法人芳和会菊陽病院医局

2-KP5-2

心因性非てんかん発作を疑われた、抗NMDA受容体脳炎の1例

○石原 森生¹、藤原 祐大¹、山崎 真之¹、戸田 裕之¹、吉野 相英¹、石原 圭人²、
本郷 悠²、鈴木 一詩²、谷口 裕亮³、瀬野 宗一郎³

¹防衛医科大学校病院防衛医科大学校精神科学講座、²防衛医科大学校神経・抗加齢血管内科、
³防衛医科大学校病院救急部



- 2-KP5-3 卵巣嚢腫と画像診断された卵巣奇形腫に伴う、抗NMDA受容体脳炎による器質性精神病の1例
○松尾 悠史¹、服部 英典²、安康 Mayuka²、須田 哲史¹、井出 健太郎¹、中島 和樹¹、小林 駿¹、桑原 達郎¹
¹国家公務員共済組合連合会立川病院精神神経科、²国家公務員共済組合連合会立川病院

- 2-KP5-4 レビー小体型認知症の診断におけるDaT-SCANの位置づけについて
○福本 俊太郎、吉野 祐太、橘 侑南、山崎 聖広、奥村 力、上野 真梨子、日根野 清、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院精神科

- 2-KP5-5 若年性アルツハイマー型認知症から神経梅毒に診断変更した一例
○玉川 博章¹、井手本 啓太²、倉田 勉¹、菊池 周一¹
¹袖ヶ浦さつき台病院精神科、²千葉大学医学部附属病院精神神経科

15:30~16:10 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）6
ストレス・神経症等

司会：浅見 剛 横浜市立大学医学部精神医学

- 2-KP6-1 COVID-19発生後の希死念慮を主訴とした大学病院精神科コンサルテーションの実情
○大屋 久晴、白石 直、渡邊 孝文、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

- 2-KP6-2 COVID-19パンデミック下における共食頻度と精神的苦痛との関連：横断研究
○辻 利佳子^{1,2}、西 大輔¹、佐々木 那津¹、秋山 浩杜¹、黒田 玲子³、津野 香奈美⁴、今村 幸太郎^{1,5}、川上 憲人^{1,5}
¹東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、²医療法人白翔会浦和神経サナトリウム、³東京大学環境安全本部、⁴神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科、⁵東京大学大学院医学系研究科社会連携講座デジタルメンタルヘルズ講座

- 2-KP6-3 技能研修中に幻覚妄想状態を呈した統合失調症の一例
○松崎 裕香¹、赤羽 学爾²、野村 健太郎²、松田 ひろし²
¹東京医科大学病院、²医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院

- 2-KP6-4 精神病症状を呈し診断に難渋した醜形恐怖症の一例
○渡邊 真治、高橋 慧、高橋 正洋、山田 尚登
社会医療法人杏嶺会上林記念病院精神心療科

- 2-KP6-5 機能不全家族に対して親子並行面接を行った思春期の3症例
○坂口 文¹、久保 洋一郎¹、伊達 京香¹、竹井 謙貴¹、藤本 健士郎¹、岡山 達志^{1,2}、杉本 峻也¹、河村 仁美¹、高山 真衣¹、若林 暁子¹、川端 康雄¹、金沢 徹文¹
¹大阪医科薬科大学病院、²医療法人稲門会いわくら病院

16:30～17:30 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）7
精神疾患のバイオマーカー等

司会：野上 毅 日本医科大学付属病院

2-KP7-1 統合失調症者、妄想性障害者の嗅覚識別テストと頭部MRI検査の検討

○吉村 絵美^{1,2}、森田 喜一郎^{1,3}、児玉 英也¹、佐藤 守¹、山下 裕之¹、吉本 幸治¹、
小路 純央¹

¹久留米大学病院神経精神科、²医療法人松籟会松籟病院、³特定医療法人社団相和会中村病院

2-KP7-2 統合失調症及び気分障害における海馬と大脳皮質及び皮質下白質間の構造学的結合性と認知機能障害との関連

○池田 奈津子¹、山田 信一¹、安田 香澄¹、上西 真也^{1,2}、玉置 敦之^{1,2}、石田 卓也¹、
田畑 倫代¹、辻 富基美¹、紀本 創兵¹、高橋 隼^{1,3,4,5}

¹和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室、²国保日高総合病院、

³大阪大学大学院医学研究科精神医学教室、⁴大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究所、

⁵公益財団法人浅香山病院

2-KP7-3 不安症のポリジェニックリスクスコアと大脳皮質構造の関連

○藤兼 大輔¹、大井 一高¹、根本 清貴²、塩入 俊樹¹

¹岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野、²筑波大学医学医療系精神医学

2-KP7-4 統合失調型パーソナリティ特性、自閉スペクトラム特性、感情知能による大学生における精神疾患患者の予測

○坂井田 有哉¹、大井 一高²、藤兼 大輔²、高井 健太郎²、蔵満 彩結実²、藤田 浩司²、
武藤 恭昌²、杉山 俊介²、塩入 俊樹²

¹岐阜大学医学部、²岐阜大学大学院医学系研究科精神医学

2-KP7-5 統合失調症患者、非罹患近親者、健常者における嗅覚同定能力

○福田 仙一¹、大井 一高^{2,3}、藤兼 大輔²、高井 健太郎²、蔵満 彩結実²、杉山 俊介²、
塩入 俊樹²

¹岐阜大学医学部、²岐阜大学大学院医学研究科精神医学分野、³金沢医科大学総合内科

16:30～17:30 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）8
双極性障害及び緊張病

司会：辻野 尚久 済生会横浜市東部病院精神科

2-KP8-1 アンケート調査結果報告－双極性障害当事者は主治医との関係性および自身の治療法をどのように考えているか

○毛塚 大¹、磯谷 悠子¹、鈴木 千穂²、鈴木 映二³

¹東北医科薬科大学病院精神科、²NPO法人日本双極性障害団体連合会、

³東北医科薬科大学医学部精神科学教室



2-KP8-2 入院を繰り返す双極性障害患者への包括的心理教育の導入により病状が安定した一例

○大立目 真臣、渡邊 亮、中川 敦夫、古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学神経精神科

2-KP8-3 炭酸リチウム服用中に副甲状腺機能亢進症を認め薬剤調整に難渋した双極性障害の一例

○三好 智浩、久保田 智香
国立精神神経医療研究センター第一精神診療部

2-KP8-4 特定不能のカタトニアにカルバマゼピンが著効した一例

○上田 万里子、千葉 比呂美、比江島 啓至、小曾根 基裕
久留米大学病院精神神経科

2-KP8-5 アマンタジンが奏功した緊張病の1例

○岡井 文^{1,2}、幾瀬 大介²、田玉 紘史²、藤井 健太郎²、藤森 翔哉³、山内 美聡²、
富岡 大²、稲本 淳子²、岩波 明³
¹昭和大学病院臨床研修センター、²昭和大学横浜市北部病院、³昭和大学附属烏山病院

16:30~17:30 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）9
統合失調症等（3）

司会：紀本 創兵 和歌山県立医科大学神経精神医学講座

2-KP9-1 統合失調症の昏迷に対する治療内容の検討－入院時と退院時の処方内容の違い

○渡邊 理紗、森川 友加里、石田 喬士朗、小黒 早紀、岩田 健
多摩総合医療センター精神神経科

2-KP9-2 抗精神病薬の減量によって不穏行動に改善を認めた慢性期統合失調症の一例

○齋藤 有紀、鈴木 均、細井 尚人、石毛 稔、菊池 周一
社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院

2-KP9-3 mECTとプロナンセリン経皮吸収型製剤の併用にて高度の便秘及び
排尿障害が改善した一例

○福本 基
碧水会長谷川病院精神科

2-KP9-4 名古屋市立大学病院における反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS)治療の立ち上げ：
多職種チーム医療の視点から

○船井 政希¹、久保田 陽介¹、野木村 茜¹、投石 浩次¹、山村 結衣¹、松久 守¹、
丹羽 みちる¹、大屋 久晴¹、川崎 友香²、朝日 昌子²、立松 理恵²、明智 龍男¹
¹名古屋市立大学病院こころの医療センター、²名古屋市立大学病院看護部